

**県立高等学校改革後期実施計画  
(令和6年度～令和10年度)**

**令和4年1月**

**福島県教育委員会**



## 目 次

<b>I 章 「県立高等学校改革後期実施計画」策定に当たって</b>	… 1
1 「県立高等学校改革基本計画」について	… 1
2 「県立高等学校改革前期実施計画」について	… 2
(1) 再編整備等の進捗状況	… 2
① 令和2年度	… 2
② 令和3年度	… 2
③ 令和4年度	… 3
④ 令和5年度（予定）	… 3
(2) 再編整備に当たっての課題と対応	… 4
① 再編整備に当たっての課題	… 4
② 具体的な対応	… 4
(3) 特色化・魅力化の取組状況	… 5
① 実績	… 5
② 今後の課題	… 6
3 「県立高等学校改革後期実施計画」策定の趣旨	… 6
4 後期実施計画期間中の中学校卒業見込者数の推移	… 7
<b>II 章 魅力と活力のある県立高等学校に向けて</b>	… 8
1 本県の高等学校教育の質的向上に向けて	… 8
(1) 学力の向上を目指した取組の推進	… 8
(2) 様々な課題に果敢に取り組み、社会に貢献する自立した人材の育成	… 8
(3) 他者を思いやり、豊かなところを育む取組の推進	… 9
(4) 生涯にわたる健康の保持増進につながる健康教育の推進	…10
(5) 地域とともにある学校づくりの推進	…10
(6) 安心して学ぶことのできる環境の支援	…10
(7) 教員の資質や学校の教育力の向上を目指した取組の推進	…11
(8) 高等学校における特別支援教育の推進	…11
(9) ICT機器を活用した教育の充実	…12
(10) きめ細かな指導が可能となる教職員の確保と配置	…12
2 社会の変化に対応した魅力ある教育環境づくり	…12
(1) 県立高等学校の再編整備	…12
(2) 過疎・中山間地域の県立高等学校の例外的措置	…14
(3) 生徒の学びのニーズや進路希望に応じた県立高等学校（全日制課程）の特色化	…14
① 進学指導拠点校	…15
② 進学指導重点校	…15
③ キャリア指導推進校	…16
④ 地域協働推進校	…17
⑤ 職業教育推進校	…17
(4) コミュニティ・スクールの導入	…18

(5) 全日制高等学校における単位制の導入	…18
(6) 全日制高等学校における各学科の充実	…19
① 普通科・普通系専門学科	…19
ア 特色ある学科の設置	…20
イ コース制の導入による魅力化	…20
② 総合学科	…21
③ 職業系専門学科	…21
ア 農業に関する学科	…21
イ 工業に関する学科	…22
ウ 商業に関する学科	…22
エ 水産に関する学科	…22
オ 家庭に関する学科	…22
カ その他の学科	…22
(7) 新しい形態の定時制・通信制高等学校の推進	…23
① 定時制高等学校	…23
② 通信制高等学校	…23
(8) 魅力ある中高一貫教育に向けて	…23
① 併設型中高一貫教育	…23
② 連携型中高一貫教育	…24
(9) 学校施設の計画的な整備	…24
<b>Ⅲ章 各高等学校の改革の方向性</b>	<b>…25</b>
1 後期実施計画期間中の中学校卒業見込者数と学級数の推移	…25
2 全日制課程の改革の方向性	…25
(1) 県北地区	…27
(2) 県中地区	…30
(3) 県南地区	…34
(4) 会津地区	…36
(5) いわき地区	…39
(6) 相双地区	…42
3 定時制・通信制課程の改革の方向性	…44
(1) 定時制高等学校	…44
(2) 通信制高等学校	…45
<b>Ⅳ章 県立高等学校改革後期実施計画の推進に当たって</b>	<b>…46</b>
1 社会の変化に対応した高等学校づくりの推進	…46
(1) 県立高等学校改革の具現化に向けて	…46
(2) 本県の高等学校教育の充実に向けて	…46
2 次期県立高等学校改革計画策定に向けた継続的な検証	…46
<b>(参考資料 1) 県立高等学校改革後期実施計画のグランドデザイン</b>	
<b>(参考資料 2) 県立高等学校改革後期実施計画最終年度(令和10年度)</b>	
<b>                    における各地区の高等学校の配置</b>	

# I章 「県立高等学校改革後期実施計画」策定に当たって

## 1 「県立高等学校改革基本計画」について

福島県においては、人口減少、少子高齢化、過疎化への対応、東日本大震災・原子力災害からの復興・再生などの大きな課題が山積しています。県立高等学校においても、これまで、人口の減少期であっても学校数をある程度維持したままで、中学校卒業者の減少に応じて学級数を減じる対応を進めた結果、小規模校の割合が全国平均と比べて高くなり、教育の質の維持・向上が課題となっています。更には、学習指導要領の改訂※、高大接続改革※など、我が国の高等学校教育は大きな転換期の中にあり、本県の高等学校教育も、大きな転機に直面しています。

平成30年5月に策定した「県立高等学校改革基本計画（2019年度～2028年度）」（以下「基本計画」という。）では、このような本県の現状をチャンスと捉え、「**本県の未来を切り拓くチャレンジ精神を持った人づくりを推進すること**」を計画の理念としました。この理念のもとに、高等学校における学びを通じて、地域に軸足を置きながら多様な主体と関わり、自己のアイデンティティと郷土への誇りを育み、生徒一人一人の志を実現させることができるよう、教育の質を向上させることとしました。そのために、**各高等学校の新たな在り方を検討し、再編整備と特色化を図る中で、より良い教育環境を提供することによって、生徒一人一人の資質や能力を伸ばさせることのできる魅力ある高等学校づくりを推進すること**を目標に、以下の4つの基本方針と17の取組に沿って高等学校教育の充実を図ることとしました。

### 【県立高等学校改革基本計画の4つの基本方針と具体的な取組】

#### 基本方針1 社会の変化に的確に対応できる生き抜く力を育む高等学校教育の推進

- (1) 生き抜く力を支える確かな学力の向上に向けた取組の推進
- (2) 豊かなところを育成する取組の推進
- (3) 体力の向上や健康増進に向けた取組の推進
- (4) 様々な課題に果敢に取り組む主体性・協働性を育成する取組の推進
- (5) 地域と連携し、地域の特色を生かした学校づくりの推進

#### 基本方針2 多様な学習内容の確保及び教育の質の向上

- (6) 多様な学習機会の充実
- (7) 中高一貫教育の推進
- (8) 学びのセーフティネットの推進
- (9) 一人一人の夢を実現させる教育力の向上

※ 学習指導要領の改訂

高等学校の学習指導要領は、平成29年度末に改訂され、令和元年度からの移行期間を経て、令和4年度から年次進行で実施される。

※ 高大接続改革

グローバル化の進展、技術革新、国内における生産年齢人口の急減などに伴い、予見の困難な時代の中で新たな価値を創造していく力を育てることが必要とされる中、学力の3要素（①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）を確実に育成・評価するための、高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の三者の一体的な改革のこと。

### 基本方針3 学校の再編整備・特色化による教育活動の魅力化

- (10) 学ぶ意欲を引き出す望ましい学校規模
- (11) 望ましい学校規模への再編整備の推進
- (12) 進路希望に応じた特色ある高等学校の配置
- (13) 社会の変化に対応した学科の適切な配置
- (14) きめ細かな指導が可能となる教育環境の整備
- (15) 学校の特色化と情報発信

### 基本方針4 過疎・中山間地域の学習機会の確保と教育環境の向上

- (16) 過疎・中山間地域の学習機会の確保
- (17) 過疎・中山間地域における教育環境の向上

## 2 「県立高等学校改革前期実施計画」について

基本計画をより実効的、計画的に推進し、その理念を具現化するために、より具体的な高等学校改革の方向性と再編整備の具体的な対象校を含む5年単位の実施計画（短期計画）を前期・後期に分けて作成することとしました。平成31年2月に策定した「県立高等学校改革前期実施計画」（以下「前期実施計画」という。）は令和元年度から令和5年度を実施期間としており、社会状況の変化や今後の中学校卒業見込者数の推移に柔軟に対応できるよう、県立高等学校の再編整備（統合を含む）を行ってきました。

### (1) 再編整備等の進捗状況

令和2年度には分校2校の募集を停止し、3校を1学年1学級規模の本校としました。また、令和3年度は統合校2校が開校し、更に令和4年度は10校を5校に、令和5年度には11校を6校に再編整備し、前期実施計画期間内に、**県立高校25校を13校に再編整備**します。

\* これ以降の表においては、「高等学校」を省略して学校名を記載します。

#### ① 令和2年度

学校名	令和元年度の 学科・学級数	再編内容	令和2年度の 学科・学級数
安積・御館校	普通1	募集停止	
修明・鮫川校	普通1	募集停止	
川俣	普通1、工業1	1学級本校化	普通1
猪苗代	普通1、商業1	1学級本校化	普通1
只見	普通2	1学級本校化	普通1

#### ② 令和3年度

学校名	令和2年度の 学科・学級数	再編内容 統合校名	令和3年度の 学科・学級数	備考
喜多方	普通4	統合 喜多方	普通5	単位制※の導入 コース制※の導入
喜多方東	普通2			
小名浜	普通1、商業1	統合 小名浜海星	普通1、商業1 水産3	水産科の再編成
いわき海星	水産4			

※ 単位制

学年による教育課程の区分を設けず、定められた単位を修得すれば卒業が認められる教育制度。一人一人の学習計画に基づいて、それぞれの興味・関心等に応じた科目を選択でき、学年の区分なく自分のペースで学習ができるなどの特徴がある。

※ コース制

同一学科の中で異なる教育課程を編成するもので、より専門的内容を高めた学びができる教育課程編成の一つ。

③ 令和4年度

学校名	令和3年度の 学科・学級数	再編内容 統合校名	令和4年度の 学科・学級数	備考
須賀川	普通4、商業1	統合 須賀川創英館	普通6	コース制の導入
長沼	普通2			
大沼	普通2	統合 会津西陵	普通4	コース制の導入
坂下	普通2			
湯本	普通6	統合 いわき湯本	普通6	コース制の導入 校舎方式※による統合
遠野	普通2			
相馬東	総合4	統合 相馬総合	総合5	校舎方式による統合
新地	普通2			
保原(定)	普通1	統合 ふくしま新世	普通1	夕・夜間部の併置 校舎方式による統合
福島中央	普通1			

④ 令和5年度(予定)

学校名	令和4年度の 学科・学級数	再編内容	令和5年度の 学科・学級数	備考
梁川	普通2	統合	普通6	コース制の導入 校舎方式による統合
保原	普通3、商業1			
二本松工業	工業3	統合	工業3、家庭1	家庭科新設 校舎方式による統合
安達東	総合2			
白河実業	農業1、工業4 商業1	統合	工業5、商業1	農業科の募集停止 工業科の再編成 校舎方式による統合
塙工業	工業2			
修明	文理1、農業2 商業1	学科再編	文理1、農業3 商業1	農業科の再編成
耶麻農業	農業1、家庭1	統合	農業4	農業科の再編成 校舎方式による統合
会津農林	農業3			
田島	普通2	統合	総合3	総合学科を設置 校舎方式による統合
南会津	普通2			

※ 校舎方式  
p.5参照。

## (2) 再編整備に当たっての課題と対応

前期実施計画では、再編整備を計画した全ての対象校において、関係市町村、地元有識者、同窓会代表、保護者代表、中学校関係者等から構成される県立高等学校改革懇談会（以下「懇談会」という。）を開催しました。懇談会においては、再編整備の趣旨や統合校の方向性などについて説明するとともに、聴取した意見をもとに、再編整備の課題に対して検討を重ねながら対応策を示してきました。更に、県教育委員会及び統合対象校の教職員により構成する教育内容検討委員会において、修正と調整を加えながら教育内容等の具体的な検討を行ってきました。

### ① 再編整備に当たっての課題

#### [教育内容について]

- 統合による大きな環境の変化により、精神的負担の増加が危惧される生徒に対応する必要があります。
- 再編整備対象校で行っている地域の特色を生かした教育活動や、小規模校で行っている中学校時代に不登校などを経験した生徒に対する手厚い指導体制を継承する必要があります。
- 多様な生徒に対し、幅広い学習ニーズと進路希望に合わせた選択科目の設置や進路別・習熟度別授業によるきめ細かな指導をさらに推進する必要があります。
- 定時制の統合において、生徒の生活パターンと多様な学習ニーズに応える教育活動の実践とキャリア教育を充実させる必要があります。
- 統合後の2～3年間は、1つの学校に複数の教育課程が存在することとなるため、学校生活に支障がないようにスムーズな業務の移行を図る必要があります。
- 統合校の魅力ある教育内容について、中学生と保護者、中学校教職員など地域の関係者に対し、積極的な情報発信に努める必要があります。

#### [生徒や地域の不安について]

- 遠距離通学となる生徒の通学費の負担増加及び学習や部活動の時間の確保と冬期間の通学に対する不安を解消する必要があります。
- 学校がなくなる地区における、地域の活力低下への不安に対応する必要があります。
- 自治体や地域住民、同窓会等からの、統合に関して納得のいく説明がなされていないという御批判に対応する必要があります。

### ② 具体的な対応

- 統合対象校の生徒の実態に応じて、入学した高校の校舎で卒業まで学ぶ**校舎方式**※を採用します。なお、校舎方式を採用した統合校においては、2つの校舎を使用して教育活動を実践することから、学校行事の持ち方や部活動の在り方等の課題を整理し対応策を講じます。
- 統合校においても、生徒を自立した社会人として送り出している小規模校の手厚く丁寧な学習指導と進路指導等を継承し、その指導体制のさらなる充実を図ります。
- 定時制の統合校において、**夜間部を継続しつつ夕間部を設置**するとともに、商業などの専門科目を設定します。
- **負担軽減の措置**として、通学費や下宿にかかる経費の一部を支援する取組等を行うとともに、田島・南会津統合校に寄宿舎を建設します。

※ 校舎方式  
p.5 参照。



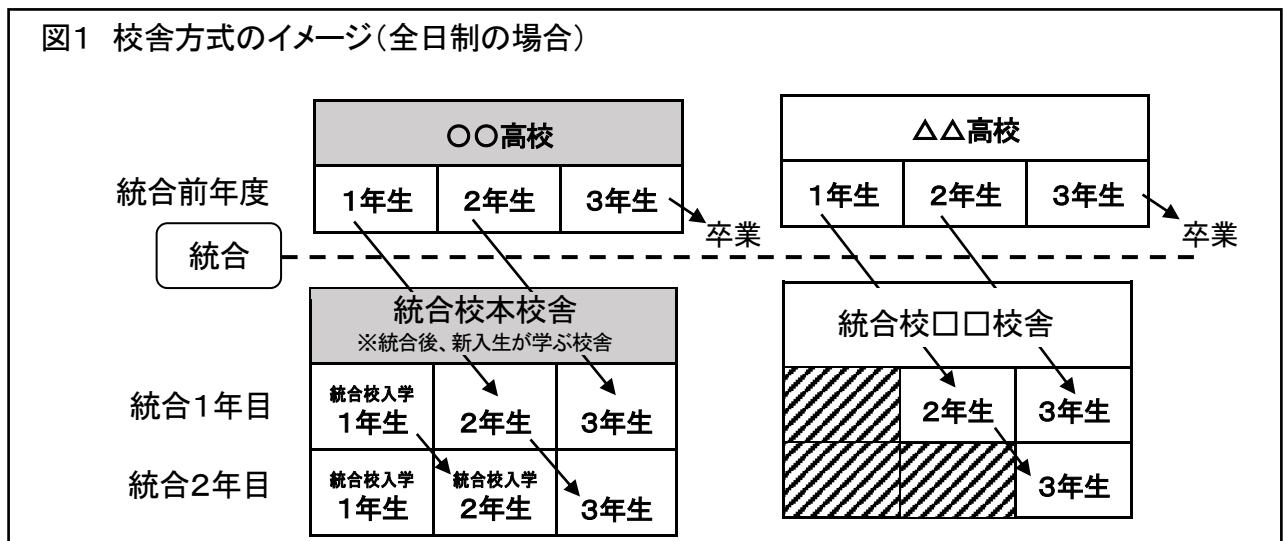
- 統合校において、統合した両校の所在地域を学びのフィールドとして、地域課題に対する探究的な学習を地域と連携して行うとともに、両校の地域の特色を生かした教育活動を継承しながら、統合校と地域の魅力を発信していきます。  
また、知事部局及び関係市町村と連携し、地域の実態を踏まえながら対話を重ね、学校跡地の利活用を含めて地域振興に取り組みます。
- 統合の趣旨と統合校の魅力などを伝えるため、中学生と保護者及び自治体や地域住民等へ説明を重ねています。引き続き丁寧に説明を行いながら、地域の皆様のさらなる理解の促進に努めます。

※ 校舎方式について

「校舎方式」とは、統合前年度までにそれぞれの高校に入学した生徒が、入学したそれぞれの高校の校舎で卒業まで学ぶ方式です（図1）。

全日制は統合2年目まで、定時制は統合3年目まで2つの校舎を使用します。

図1 校舎方式のイメージ(全日制の場合)



(3) 特色化・魅力化の取組状況

前期実施計画では、基本計画に示された4つの基本方針を具現化し、魅力と活力ある学校づくりを推進するため、県立高等学校改革の方向性について教育の質的向上の観点から整理し、すべての県立高等学校の在り方を見直して各校の位置づけを明確にすることにより、生徒一人一人の資質や能力を伸ばさせることのできる魅力ある学校づくりを推進しています。

① 実績

- 生徒の興味・関心や進路希望等に対応した多様な科目が選択できるよう、**単位制を5校に導入**することとしました。
- 普通科及び普通系専門学科の特色化・魅力化として、進学、就職に向けた指導の充実を図るため、**教育プログラムとしてのコース制※を18校に導入**することとしました。
- 地域と協働した学校づくりを推進し、地域創生の核となる人材を育成するため、**コミュニティ・スクール※を6校に導入**しました。

※ 「教育プログラムとしてのコース制」

本県の、医学をはじめとした保健・医療や教育、福祉を担う人材を育成するため、大学等と連携した体験学習や特別講座等を実施する教育プログラム。

※ コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)

学校と地域住民・保護者が力を合わせて学校の運営に取り組むことにより、「地域と共にある学校」を実現するための制度の一つ。具体的には、「学校運営協議会」(学校と地域の協議の場)を設置している学校のこと。

- 地域の特色を生かした地域課題探究学習を推進するため、地域コーディネーターを3校に配置しました。
- 統合校と1学年1学級規模の本校の学習環境を整備するため、優先的にICT機器の配置やICT支援員の派遣を行いました。

## ② 今後の課題

前期実施計画の取組をさらに推進していくために、次の課題に対処する必要があります。

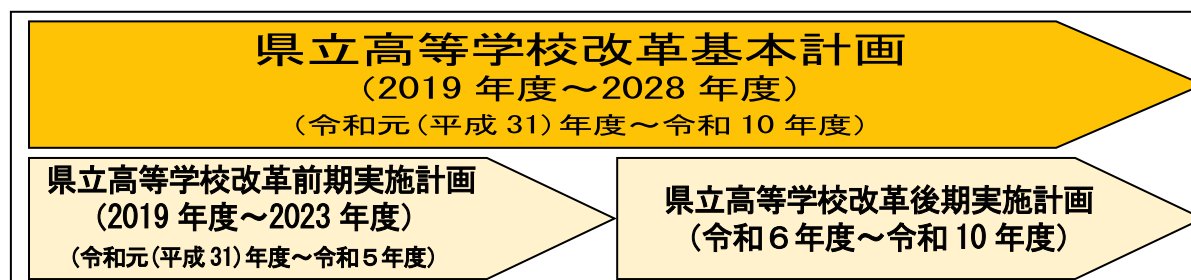
- 生徒の進路実現に必要な学力や資質の向上を図るために、各校の特色や生徒の実態を踏まえ、教育課程や教育プログラムをさらに充実させる必要があります。
- 地域課題探究学習を一層推進するために、地域コーディネーターや探究的な学びに協力する意欲と資質を持つ地域人材を確保する必要があります。
- 地域とともにある学校づくりのために、学校と地域の人々が相互理解や信頼関係を深め、それぞれの課題に対するお互いの当事者意識を醸成していく必要があります。
- 生徒自らの力や学校だけでは解決できない多様な課題を抱える生徒一人一人に対応するために、関係機関と連携して組織的な支援を行う必要があります。
- ICT機器を効果的に活用する学びの研究等を進める必要があります。

## 3 「県立高等学校改革後期実施計画」策定の趣旨

「県立高等学校改革後期実施計画」（以下「後期実施計画」という。）は、基本計画の理念を具現化するために、県立高等学校改革の内容や再編整備の具体的な対象校等について5年単位の実施計画（短期計画）を前期・後期に分けて策定することとしたうち、後期5年間（令和6～10年度）の具体的な取組を示すものです。

また、後期実施計画は、令和3年12月に策定した第7次福島県総合教育計画※を踏まえて策定しました。

### 【県立高等学校改革計画の期間】



※ 第7次福島県総合教育計画

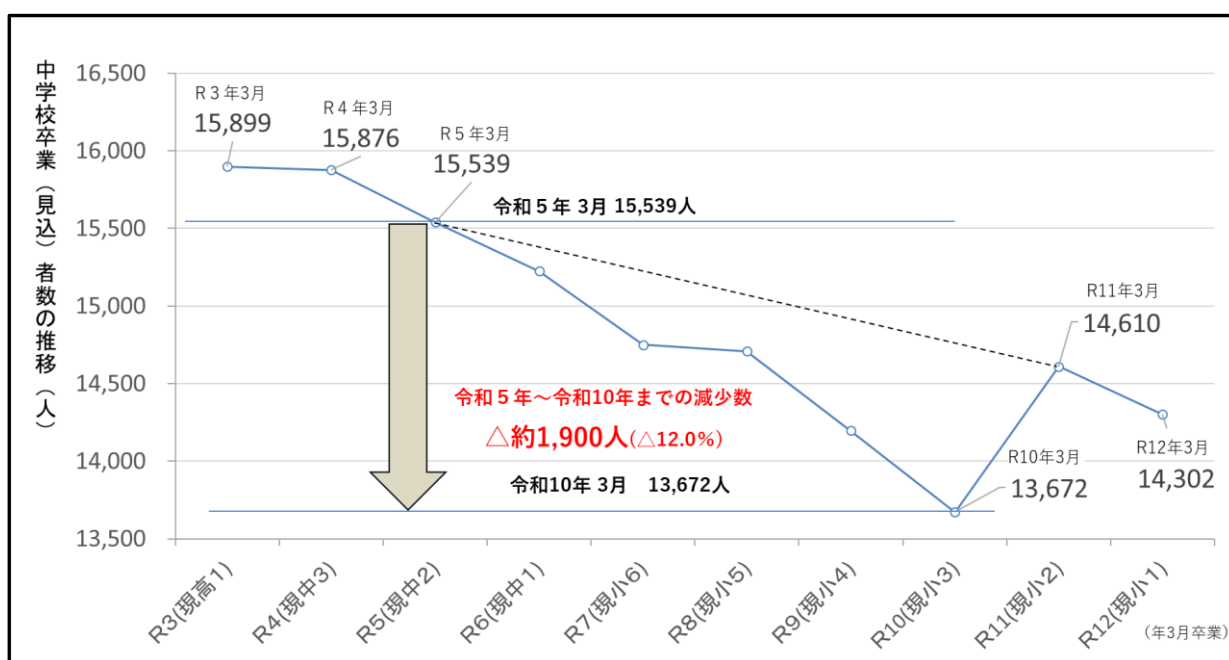
本県では、教育行政の効率的かつ効果的な推進に資するため、総合教育計画を昭和41年以来、策定している。第7次計画は、令和4年度から令和12年度までの9か年の計画である。

## 4 後期実施計画期間中の中学校卒業見込者数の推移

本県の後期実施計画期間中の中学校卒業見込者数については、前期実施計画の最終年度である令和5年3月の卒業見込者数15,539人から、後期実施計画の最終年度である令和10年3月の卒業見込者数13,672人へと、約1,900人減少する見込みですが、翌令和11年3月の卒業見込者数は14,610人と一時的に約1,000人増加するため、令和5年3月と比較すると約930人の減少となる見込みです（図2）。

後期計画においては、令和11年3月の卒業見込者数の一時的な増加を踏まえるとともに、今後の社会情勢の変化に注視しながら県立高等学校改革を推進していきます。

図2 令和12年3月までの中学校卒業見込者数の推移(全県) (令和3年5月現在)



出典：令和3年3月は福島県企画調整部統計課編各年度の「学校基本統計（学校基本調査報告書）」から作成。

令和4年3月～令和12年3月までは同「学校基本統計（学校基本調査報告書）」における各学年の在籍者をもとに作成。

## Ⅱ章 魅力と活力のある県立高等学校に向けて

### 1 本県の高等学校教育の質的向上に向けて

後期実施計画においても、前期実施計画と同様に、基本計画に示した4つの基本方針を具現化し、社会の在り方が劇的に変わる Society 5.0※の時代に必要な資質・能力を身につけた人材の育成を目指して、「福島ならではの」教育の充実を図るとともに、魅力と活力ある学校づくりを推進するための県立高等学校改革の方向性について、教育の質的向上の観点から(1)～(10)に整理して示します。

#### (1) 学力の向上を目指した取組の推進

[基本計画との関連]

基本方針1 (1) 生き抜く力を支える確かな学力の向上に向けた取組の推進

[取組内容]

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善や、探究型学習、課題解決型学習及びSTEAM教育※等の教科横断的な学習の充実を図るとともに、指導方法や学習評価の改善を行い、知識・技能の確実な習得だけでなく、社会で自立的に活動していくための思考力・判断力・表現力等や他者と協働する態度など、新しい時代に求められる学力の向上を図ります。
- 高等学校での学びをもとにして、生徒が自己の在り方や生き方を振り返りながら、進路についての関心を深め、変化する社会の中で生涯にわたって学び続ける意欲や態度を身に付けられるよう、各校が教育活動の充実に努めます。
- 学力向上に関する事業を通して、各校の特色及び生徒の実態に応じた役割や使命を踏まえながら、学力向上や進路実現の取組を支援します。
- 生徒や地域の実態を踏まえ、学校全体の教育課程を編成・実施・評価し改善を図るカリキュラム・マネジメントの定着を図ることで、各校の教育目標を実現します。

#### (2) 様々な課題に果敢に取り組み、社会に貢献する自立した人材の育成

[基本計画との関連]

基本方針1 (4) 様々な課題に果敢に取り組む主体性・協働性を育成する取組の推進

[取組内容]

- 本県の豊かな文化や歴史、自然環境を生かした体験活動や、分断や対立を乗り越えてきた復興への歩みをテーマとした探究的な学びなどの「福島ならではの」教育を実践し、多様な人々との対話や協働の大切さを学びながら、福島を誇りに持ち、社会や地域を創造することができる人材を育成します。
- 課題先進県である本県において、生徒自らが地域の一員として地域課題の解決に取り組むアクティブ・ラーナー※としての資質を育むことにより、地域との共生を図り、本県復興を担うたくましい人材を育成します。

※ Society 5.0 (超スマート社会)

サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society)。この社会に向けて取り組むべき学びは、基礎的読解力、数学的思考力などの基盤的な学力や情報活用能力を修得することである。

※ STEAM教育

科学(Science)、技術(Technology)、工学(Engineering)、哲学、芸術、歴史などの教養(Art・リベラルアーツ)、数学(Mathematics)の諸領域・各教科等を横断しながら、実社会での課題発見・解決に必要な本質を見抜き考える力や新たな価値を生み出す創造力等を育む教育。

※ アクティブ・ラーナー(アクティブ・ラーニング)

アクティブ・ラーナーは、課題に正面から向き合い、正解のない問いの解決に向けて自ら学び、行動することができる人のこと。アクティブ・ラーニングは、教師による一方的な講義形式の教育とは異なり、学習者が課題の発見・解決に向けて能動的に学ぶ指導・学習法の総称。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けたアクティブ・ラーニングの推進を通して、学習者も教師も「アクティブ・ラーナー」としての姿勢を持つことが求められる。

- **SDGs※の実現に必要な課題解決力や創造力を身につけた人材の育成**を図る学びや、地域や社会の将来を担う人材の育成を図るための地域社会に関する実践的な学びの充実を図ります。
- 職業系専門学科において、資質・能力を育み、高い専門性を身に付けさせ、地域に貢献できる産業人材の育成を図ります。
- 生徒が、自らの適性を踏まえて進路について具体的な見通しをもって自己決定できるように、職業等に関する体験活動や研修会、進路指導相談など、キャリア教育※の視点を踏まえた進路指導に関する取組の充実を図ります。また、地域企業におけるインターンシップや、福島で働くことの意義などについての講話、医療・福祉施設での体験学習などを通して、地域産業や職業を理解する取組を行い、本県で生活基盤を築こうとする生徒の志を養います。
- グローバル社会で活躍する人材の育成のため、国際理解教育を推進するとともに、4技能（聞く、読む、話す、書く）のバランスの取れた英語力及びコミュニケーション能力の向上を図ります。また、教員の英語指導力のさらなる向上を図ります。
- 福島イノベーション・コースト構想※を担う人材の育成のため、大学、地域企業及び研究機関等と連携し、対象校の特色を生かした新たな教育プログラムを開発して取り組むとともに、県内各地域への普及を進めます。
- 「ふくしま放射線教育・防災教育指導資料」（平成29年3月発行）の活用などにより、東日本大震災・原子力災害の教訓を継承し、放射線や災害・防災についての基礎的な知識及び正しい知識を身に付けさせます。また、災害発生時に自ら考え、判断し、行動する力を育成し、地域社会の一員として地域の安全に役立つことができる態度や能力の育成を図ります。更に、震災と復興に関する地域課題探究学習を通して、福島における震災、復興、そして未来について、自分の考えを持ち、自分の言葉で語ることでできる**高校生の「語り部」**を育成します。

### **(3) 他者を思いやり、豊かなこころを育む取組の推進**

#### **[基本計画との関連]**

基本方針1 (2) 豊かなこころを育成する取組の推進

#### **[取組内容]**

- 体験的な活動や「ふくしま道徳教育資料集」（平成27年11月発行）の活用などにより、教育活動の中で、人間としての在り方生き方について、生徒が自ら考え、自覚を深めて自己実現を図る機会を積極的に作り、道徳的実践意欲と態度の育成に努めます。また、他者の多様な個性や価値観を受け入れ、人権を尊重する態度の育成に努めます。
- 生徒の社会貢献活動を支援し、東日本大震災・原子力災害を経験したからこそ芽生えた他者を思いやる気持ちや優しさ、郷土への誇りをより一層育みます。

---

#### ※ SDGs

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略で、国連サミットで2015年（平成27年）に採択した、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のために設定した17の国際目標。2030年（令和12年）を年限に、社会、経済、環境に統合的に取り組む。

#### ※ キャリア教育

社会の一員としての役割を果たすとともに、生徒それぞれの個性、持ち味を最大限発揮しながら、社会的・職業的に自立して生きていくために必要な基盤となる能力や態度を育てる教育のこと。キャリア教育は、発達段階に応じて、就学前から、初等中等教育・高等教育、さらに若者を支援する様々な機関においても実践されるものである。

#### ※ 福島イノベーション・コースト構想

東日本大震災・原子力災害によって失われた浜通り地域等の産業基盤の再構築を目指す国家プロジェクトのこと。廃炉やロボット技術に関する研究開発拠点の整備を進め、再生可能エネルギーや次世代エネルギー技術の積極導入、先端技術を活用した農林水産業の再生、更には、未来を担う人材育成、研究者等の来訪者や立地企業の従業員等に向けた生活環境の確保や必要なインフラなど様々な環境整備が推進されている。

- 各校が策定した「学校いじめ防止基本方針」に基づいて、家庭や地域と連携しながら、組織的にいじめ問題に取り組みます。
- 生徒指導アドバイザーを適宜派遣するなど、生徒指導上の諸問題の未然防止や的確な対応の支援を行います。
- 令和3年1月に改訂した「福島県公立小・中・高等学校における携帯電話の取扱指針※」に基づき、生徒一人一人がICT機器を安全かつ適切に利用できるよう、学校全体における情報モラル教育のより一層の充実を図ります。

#### (4) 生涯にわたる健康の保持増進につながる健康教育の推進

##### [基本計画との関連]

基本方針1 (3) 体力の向上や健康増進に向けた取組の推進

##### [取組内容]

- 生徒が自らの健康状態に関心を持ち、学校での保健指導や体育指導の内容を生かしながら、運動習慣や食習慣などの生活習慣の改善に積極的に取り組む契機となるよう、健康増進に向けた取組を推進します。

#### (5) 地域とともにある学校づくりの推進

##### [基本計画との関連]

基本方針1 (5) 地域と連携し、地域の特色を生かした学校づくりの推進

##### [取組内容]

- 各校のカリキュラム・マネジメントにおいて、社会に開かれた教育課程のもと、地域の教育資源を積極的に活用した教育活動を展開することによって、地域の特色を生かした教育内容の充実を推進します。
- 高等学校が、所在市町村及び近隣市町村との連携を強化し、積極的に地域振興に関わることで活性化に貢献するなど、高等学校での学びを通じた地域づくりの視点を教育活動に生かし、地域を支える人材の育成を推進します。
- 地域とともにある特色ある学校づくりに資するため、地域の声を学校運営や教育活動に反映させるコミュニティ・スクールの導入を推進します。

#### (6) 安心して学ぶことのできる環境の支援

##### [基本計画との関連]

基本方針2 (8) 学びのセーフティネットの推進

##### [取組内容]

- 奨学金等の活用を通して、経済的理由により修学困難と認められる生徒に対して経済的な負担軽減策を継続して行います。
- 生徒の抱える諸問題にきめ細かく対応するため、スクールカウンセラー(SC)※やスクールソーシャルワーカー(SSW)※等、専門的な職員を効果的に配置します。更に、電話相談やSNS※等を活用した相談体制を継続し、問題の深刻化を未然に防止します。

※ 福島県公立小・中・高等学校における携帯電話の取扱指針(令和3年1月29日付け2教高第1432号通知)  
高等学校においては、教育活動を目的とする場合、携帯電話の使用を認めることができる。情報を正しく安全に利用し、ネット上のいじめ防止に対する取組を徹底するなどの学校における情報モラル教育の取り組み、保護者に対する働きかけについて示した指針である。

※ スクールカウンセラー(SC)  
いじめや不登校などの児童生徒の問題の解決や震災等の心のケアに資することを目的とした、臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有する職員のこと。

※ スクールソーシャルワーカー(SSW)  
不登校、いじめ、暴力行為、発達障がい、家庭環境、児童虐待などの困難を抱える児童生徒や被災した児童生徒の問題の解決を目的とした、社会福祉等の専門的な知識・経験を有する職員のこと。

※ SNS  
Social Networking Service(ソーシャル・ネットワークング・サービス)の略で、インターネットを介して人間関係を構築できるスマートフォンやパソコン用のサービスの総称。

- 放課後における生徒の居場所づくりの取組を、関係機関・地域と連携しながら推進します。
- 特別な支援を必要とする生徒に加え、家庭教育を取り巻く困難な状況等、生徒自らの力や学校だけでは解決できない課題を抱える生徒に対して、卒業後を見据えた適切な指導や必要な個別の支援を組織的に実施するため、生徒一人一人の特別な援助ニーズを把握し、関係機関と連携した個別支援教育※を推進します。

## (7) 教員の資質や学校の教育力の向上を目指した取組の推進

### [基本計画との関連]

基本方針2 (9) 一人一人の夢を実現させる教育力の向上

### [取組内容]

- 令和4年に改定する「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」を踏まえ、体系的かつ効果的な教員研修を実施し、教員の資質向上を図ります。
- 互見授業※や校内研修を通して同僚間で学び合う学校の雰囲気醸成し、教員自らが学び続けるアクティブ・ラーナーとしての資質の向上を図ります。
- 大学や地域企業等との連携など、外部の人材を効果的に活用し、学校の教育力の向上を図ります。

## (8) 高等学校における特別支援教育の推進

### [基本計画との関連]

基本方針2 (6) 多様な学習機会の充実

### [取組内容]

- 小・中学校等において特別支援学級に在籍していた生徒や通級による指導※を受けていた生徒が高等学校に在籍していることから、各校に特別支援教育に関する委員会を設置するとともに、特別支援教育コーディネーター※の任命等、全校的な支援体制の整備と充実に努めます。
- 特別な支援を必要とする生徒が在籍する学校への学習を支援するための人員配置について検討します。
- 特別な支援を必要とする生徒に対して、県立特別支援学校に設置された地域支援センターや地域支援アドバイザー※を活用し、小・中学校から高等学校卒業まで切れ目のない支援に努めます。
- 特別支援学校や関係機関と連携し、在籍する生徒の障がいの状態や特性に応じた指導と必要な支援体制の整備に努めるとともに、他県の状況やモデル校の成果等を踏まえ、**通級による指導の充実と拡大**に向けて検討します。

---

#### ※ 個別支援教育

児童生徒一人一人の特別な援助ニーズを把握し、社会で自立し、持続可能な社会の作り手となる人材の育成を目指し、医療や福祉、労働などの関係機関と連携した対応や個に寄り添ったきめ細かな支援を切れ目なく行うもの。

#### ※ 互見授業

教員が校内でお互いの授業を公開し、指導の工夫などについて学び合うことで、授業力の向上を図る研修のこと。

#### ※ 通級による指導

通常学級に在籍する児童・生徒が、障がいに応じた補充指導などを別室で受ける制度のこと。平成5年度に小中学校で制度化され、高等学校においても引き続き通級指導を必要とする生徒に対応するため、平成30年度に高等学校においても通級による指導が実施できるように制度化された。

#### ※ 特別支援教育コーディネーター

県内の公立学校において、教職員、保護者、校外の関係機関と連携し、校内の特別支援教育を推進するための校務分掌の一つ。全ての県立高等学校に置かれている。

#### ※ 地域支援センターや地域支援アドバイザー

地域支援センターは、特別な支援を必要とする子どもたちの就学前から社会に出るまでの切れ目のない支援体制構築のために、すべての特別支援学校に設置されている相談窓口のこと。地域支援アドバイザーは、地域支援センターに配置し、相談体制の充実や関係機関との連携強化を図る職員のこと。

## (9) ICT機器を活用した教育の充実

### [基本計画との関連]

基本方針1 (1) 生き抜く力を支える確かな学力の向上に向けた取組の推進

基本方針4 (17) 過疎・中山間地域における教育環境の向上

### [取組内容]

- 授業等でのネットワーク使用量の増加への対応、情報セキュリティの維持など、安定したインターネット利用環境を提供します。
- 個人所有のタブレット端末の活用やオンライン会議システムの整備により、教育活動におけるICT機器の活用を推進します。また、ICT機器を活用した授業の実践事例の公開や教員研修により、個に応じた学びや協働的な学びなど、学習場面に応じた活用法を充実させます。
- 福島イノベーション人材育成実践事業※等における、ICT機器を活用した探究的な教育プログラムの実践成果を各校に普及させます。
- 授業や講演会などの動画コンテンツを整備するとともに遠隔学習などICT機器を活用した学習支援により、生徒の多様な学習機会を確保します。

## (10) きめ細かな指導が可能となる教職員の確保と配置

### [基本計画との関連]

基本方針3 (14) きめ細かな指導が可能となる教育環境の整備

### [取組内容]

- 学級数の減少に伴う教職員数の減少により、学校の教育活動が制限され、教育の質の低下に繋がらないよう、一定の教職員数を確保し、チーム・ティーチング、習熟度別学習、40人学級編制の見直しを含む少人数教育の検討など、個に応じたきめ細かな指導が充実するよう教育環境の整備に努めます。
- 統合校において、統合後の学校運営や教育活動が充実したものとなるよう、一定の教職員数を確保し、教育環境の整備を図ります。

## 2 社会の変化に対応した魅力ある教育環境づくり

後期実施計画では、前期実施計画に引き続き、県立高等学校改革基本計画において示した「本県の未来を切り拓くチャレンジ精神を持った人づくり」の理念を実現させるために、すべての県立高等学校の魅力化を図ります。

具体的には、以下の(1)～(9)のとおり、学ぶ意欲を引き出す望ましい学校規模や、地域における学校の役割などを考慮して、今後ますます進行する少子化の流れを見据えながら、再編整備等に取り組むことにより、生徒一人一人の資質や能力を伸長させることのできる魅力ある高等学校づくりをさらに推進します。

### (1) 県立高等学校の再編整備

#### [基本計画との関連]

基本方針3 (10) 学ぶ意欲を引き出す望ましい学校規模

(11) 望ましい学校規模への再編整備の推進

---

※ 福島イノベーション人材育成実践事業  
福島イノベーション・コースト構想を担う人材育成のため、高等学校において、大学・企業・自治体との連携や教育環境の整備によって、魅力あるプログラムを開発・実践する県の事業。



## [取組内容]

- 生徒の社会性や協働する力を養うことのできる一定の集団規模を確保しつつ、生徒一人一人に目の行き届いたきめ細かな指導を充実させるという観点から、望ましい学校規模を1学年4～6学級とし、3学級以下の学校について再編整備を推進します。
- 東日本大震災・原子力災害からの復興途上にある相双地区の高等学校においては、住民の帰還や小中学校の再開、国際教育研究拠点の整備等の状況を考慮しながら、今後の在り方を引き続き検討していく必要があるため、1学年3学級以下であっても例外的に再編整備の対象外とする場合があります。
- 特別支援学校を併設する1学年3学級以下の高等学校については、インクルーシブ教育システム※の推進を図る観点から、再編整備について個別に検討します。
- 都市部の高等学校にあっても、都市部における生徒減の状況や地域バランス等を考慮し、計画的に再編整備を進めます。
- 統合校については、対象となる各校の教育活動を踏まえ、生徒の資質や能力を伸ばさせ社会性を養うことのできる教育課程や部活動など、望ましい学校規模の中で可能となる教育内容を十分に検討し、学校の魅力化を図ります。
- 学校の再編整備によって、遠距離通学や自宅外からの通学となる生徒に対しては、負担軽減の措置を検討します。
- 後期実施計画の最終年度である令和10年度までの生徒の志願動向や、地域の中学校卒業見込者数の推移等を考慮しながら、高等学校の再編整備を検討します。

## 【県立高等学校の統合】

後期実施計画においては、以下のとおり、統合を実施します。

統合する高等学校と統合の方向性（統合の詳細は、Ⅲ章1）

学校名	令和3年度の学科と 1学年当たりの学級数		統合校の学科・学級数	
	学科	学級数	学科	学級数
福島西	普通4、デザイン科学1	5	探究（仮称）1 デザイン科学1	6
福島北	総合	4	総合4	
船引	普通	3	総合	4
小野	総合	2		
平商業	商業	4	商業4	5
四倉	普通	2	情報1	
いわき総合	総合	5	総合	6
好間	普通	2		

※ インクルーシブ教育システム

2006年（平成18年）に国連で採択された「障害者の権利に関する条約」において提唱されたものであり、共生社会に向けて一人一人に応じた指導や支援（特別支援教育）を行うことに加え、障がいのある者と障がいのない者が可能な限り共に学ぶ仕組みのこと。

## (2) 過疎・中山間地域の県立高等学校の例外的措置

### [基本計画との関連]

基本方針4 (16) 過疎・中山間地域の学習機会の確保

### [取組内容]

- 過疎・中山間地域の高等学校において、地理的条件や公共交通機関の状況等から、統合により近隣の高等学校への通学が極端に困難になり、当該地域の生徒の教育機会が著しく損なわれる場合や、地元からの入学者の割合が著しく高い場合など、特別な事情がある場合には、例外的に1学年1学級規模の本校とし、以下の学校を対象とします。

新たに1学年1学級規模の本校とする高等学校

石川
----

現在、1学年1学級規模の本校である高等学校

川俣	湖南	猪苗代	西会津	川口	只見
----	----	-----	-----	----	----

- ・ タブレット端末等のICT機器の活用や遠隔学習の実施、学校行事等における近隣の学校との交流や連携など、教育内容の魅力化に努めるとともに、引き続き、地域の支援と協力のもとに、地域と連携しながら教育活動を進めます。
- ・ 新たに1学年1学級規模の本校とする高等学校において、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入を検討するとともに、すでに導入している6校において、地域との協働を推進することにより、教育環境の充実、発展を図ります。
- ・ 対象校の入学者数が募集定員の1/2以下になるなど、教育の質の維持が著しく困難になる場合、あるいは地元からの入学者の割合が著しく低い場合には、存続について検討します。

## (3) 生徒の学びのニーズや進路希望に応じた県立高等学校（全日制課程）の特色化

### [基本計画との関連]

基本方針3 (12) 進路希望に応じた特色ある高等学校の配置

(15) 学校の特色化と情報発信

### [取組内容]

- 前期実施計画に引き続き後期実施計画においても、様々な課題に果敢に取り組む主体性・協働性を育成する教育活動の推進や、多様な学習内容の確保及び教育の質の向上の観点から、全日制課程の各高等学校を、進学指導拠点校、進学指導重点校、キャリア指導推進校※、地域協働推進校、職業教育推進校のいずれかに位置づけました。それぞれの学校において育成を目指す資質・能力を明確化・具体化し、生徒の学びのニーズや進路希望に応じた教育活動を展開します。

※ キャリア指導推進校

この学校群は、地域社会をはじめとする学校内外の様々な関わりを通じた体験的なキャリア教育を展開することによって、生徒一人一人の社会的・職業的自立に向けた丁寧な指導を推進することを特徴とすることから、「キャリア指導推進校」という名称とする。

- 学校教育法施行規則及び高等学校設置基準の一部改正に伴うスクール・ミッション※については、令和4年度に定義します。また、スクール・ポリシー※については、それぞれの学校において令和5年度に策定し公表します。

### ① 進学指導拠点校

- ・ 本県の学習指導や進学指導のリーダー校として、難関大学や医学部志望者の進路実現を図るための取組を行い、各分野において国内外で活躍し、未来を牽引できる人づくりを担う進学指導拠点校として、以下の4校を位置づけ、進学指導重点校（②に記載）と連携して県内の教育力向上を図ります。

福島	安積	会津	磐城
----	----	----	----

- ・ 生徒の興味・関心や進路希望等に対応した多様な学習内容が選択できるよう、単位制を導入します。
- ・ 新しい学習指導要領と高大接続改革に対応した、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた質の高い授業を展開することによって、様々な課題に主体的に取り組み、他者と協働しながら課題を解決する態度を育成します。
- ・ 生徒一人一人の思考力・判断力・表現力の向上とともに、大学での学びにつながるような知的探究心の喚起を目指し、本質的で深い学びへ導く探究的な授業を積極的に展開します。
- ・ 地域課題に関する討論や発表などを通じて、地域、社会、政治などへの関心を高め、社会の一員として積極的に社会に参画する態度を養うシティズンシップ教育を推進します。
- ・ 外国語で意見を主張できる発信力やコミュニケーション力を高める取組を展開し、グローバルな視点から思考することで、国内外における各分野のトップリーダーとして活躍できる能力を育成します。
- ・ 進学指導拠点校が、学習指導や進学指導のノウハウを進学指導重点校等と共有することで、各校の進学指導力の向上を図るとともに、教員の学習指導や進路指導の力をさらに高め、生徒の進路希望を実現します。
- ・ 安積高等学校においては、併設型中高一貫教育校として生徒の高い志を実現する質の高い学力を育成し、難関大学や医学部志望者を含めた生徒の進路実現に対応できる取組を発展させます。
- ・ 福島高等学校、会津高等学校、磐城高等学校においては、各地区における進学指導拠点校としての役割をより一層果たすことができる教育の充実について引き続き検討していきます。

### ② 進学指導重点校

- ・ 各地区で進学指導における中心的役割を果たすとともに、生徒の高い志を支援し、質の高い学びを通して進路目標を実現できる学力を定着させ、各分野のリーダーとして、地域の発展に貢献できる人づくりを担う進学指導重点校として、以下の16校を位置づけます。

※ スクール・ミッション  
各高等学校に期待される社会的役割等のこと。

※ スクール・ポリシー  
各高等学校で策定する「育成を目指す資質・能力に関する方針」「教育課程の編成及び実施に関する方針」「入学者の受け入れに関する方針」のこと。

県北地区	県中地区	県南地区	会津地区	いわき地区	相双地区
橘 <b>福島西・福島北 統合校</b> 福島東	安積黎明 郡山東 郡山 須賀川桐陽	白河 白河旭	葵 会津学鳳 喜多方	磐城桜が丘 いわき光洋	相馬 原町

(後期実施計画最終年度(令和10年度)の学校の状況を表し、統合校の名称は仮称である。)  
(太字の学校名は、後期実施計画の統合校)

- これまでの自校の取組を発展させることに加えて、進学指導拠点校と連携しながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善や進学指導に関する情報等を共有し、進学指導体制を強化します。
- 探究的な学びを積極的に導入することにより、生徒の知的探究心を高め、主体性や科学的・論理的に思考する力を育成します。
- 生徒一人一人の学びたい分野や就きたい職業を見据えた丁寧な進路指導により、生徒の意欲を引き出し、上級学校への学びへとつなげます。
- 地区内に進学指導拠点校を設置しない県南地区と相双地区については、白河高等学校及び相馬高等学校において、進学指導拠点校と同様に、本質的で深い学びへ導く探究的な授業を積極的に展開し、進学指導力の強化を図ります。

### ③ キャリア指導推進校

- 大学等への進学や就職など、幅広い生徒の進路希望や生徒の学習ニーズに対応した教育活動の充実を図り、地域を支える核として社会に貢献できる人づくりを担うキャリア指導推進校として、以下の16校を位置づけます。

県北地区	県中地区	県南地区	会津地区	いわき地区	相双地区
福島南 <b>梁川・保原 統合校</b> 安達 本宮	あさか開成 須賀川創英館 田村 <b>船引・小野 統合校</b>	光南	会津西陵 <b>田島・南会津 統合校</b>	<b>いわき総合・ 好間統合校</b> いわき湯本 勿来	ふたば未来学園 相馬総合

(後期実施計画最終年度(令和10年度)の学校の状況を表し、統合校の名称は仮称である。)  
(太字の学校名は、後期実施計画の統合校)

- 大学や地域企業等、地域の教育資源を活用した体験的な教育活動を展開し、生徒が自らの適性について考え、主体的に自分の進路を切り拓いていこうとする態度を養い、生徒の社会的・職業的自立を支援する指導を充実させます。
- 地域と連携した地域課題解決の探究学習に取り組むことによって、地域社会を支える核となって活躍し、社会に貢献できる人材を育成します。
- 生徒の学習の定着状況に応じて、少人数指導やチーム・ティーチングなどの丁寧でわかりやすい授業の展開とアクティブ・ラーニングの積極的な導入により、確かな学力と学ぶ意欲の養成を図ります。
- 地域の実状や学校の取組状況等に応じて、コミュニティ・スクールの導入を検討します。

- ・ 特別支援学校を併設する高等学校においては、インクルーシブ教育システムの理念に基づき、学校行事等における交流や連携など、引き続き、特別支援学校や関連機関と連携しながら**共生社会の形成に向けた教育活動**を進めます。
- ・ ふたば未来学園高等学校については、「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローバル型）」指定校としての実績や創造的復興教育の先進的な実践の成果を他校と共有し、具体的な指導法や評価法などについて普及・発展させます。

#### ④ 地域協働推進校

- ・ 地域との協働による教育内容の充実により、生徒の進路希望の実現を図り、地域創生の核となり社会に貢献できる人づくりを担う地域協働推進校として、以下の7校を位置づけます。

川俣	湖南	<b>石川</b>	猪苗代	西会津	川口	只見
----	----	-----------	-----	-----	----	----

(太字の学校名は、後期実施計画からの対象校)

- ・ 生徒の学習状況に応じた丁寧でわかりやすい授業とアクティブ・ラーニングの積極的な導入に加えて、地域との協働による教育活動により、各地域ならではの教育内容を展開します。
- ・ 地域の教育資源を活用し、地域が抱える課題の解決に向けて積極的に取り組む探究的な活動により、地域への愛着や貢献意識を高めます。
- ・ 地域との協働をさらに推進するため、地域の声を学校運営や教育活動に反映させるコミュニティ・スクールの充実・改善を図ります。

#### ⑤ 職業教育推進校

- ・ 今後の本県の産業振興の方向性や地域の産業構造を踏まえ、大学や地域企業等との連携により、専門性の高い学びや技術の習得が可能となる職業教育を推進し、地域産業の振興や福島の復興を支える人づくりを担う、職業教育推進校として、以下の21校を位置づけます。

県北地区	県中地区	県南地区	会津地区	いわき地区	相双地区
福島商業 福島明成 福島工業 二本松工業・ 安達東統合校	郡山商業 郡山北工業 清陵情報 岩瀬農業	白河実業・ 塙工業統合校 修明	若松商業 会津工業 喜多方桐桜 耶麻農業・ 会津農林統合校	平工業 <b>平商業・ 四倉統合校</b> 小名浜海星 磐城農業 勿来工業	相馬農業 小高産業技術

(後期実施計画最終年度(令和10年度)の学校の状況を表し、統合校の名称は仮称である。)

(太字の学校名は、後期実施計画の統合校)

- ・ 職業人として必要な知識・技能はもとより、時代のニーズに対応した先進的な技術にも触れられるよう、大学やテクノアカデミー、地域企業等との連携を一層深め、実践的な学習の場を提供することで、高い専門性を身に付けるための職業教育を推進します。

- ・ 地域企業等の協力に基づく実践的なインターンシップなどを通して、職業観や勤労観を醸成する取組を展開し、本県に生活基盤を築き、本県産業を支える人材を育成します。
- ・ 福島イノベーション・コースト構想を担う人材育成のための教育環境の整備や各校の教育プログラムの実践の成果を他校と共有し、職業教育の充実を図ります。
- ・ 小高産業技術高等学校については、SPH（スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール）※指定校としての実績やマイスター・ハイスクール事業※指定校としての実績などの教育内容の成果を他の職業教育推進校と共有し、先進的な職業教育を普及・発展させます。

#### (4) コミュニティ・スクールの導入

##### [基本計画との関連]

基本方針1 (5) 地域と連携し、地域の特色を生かした学校づくりの推進

##### [取組内容]

- 地域協働推進校においては、過疎・中山間地域の学校など「地域の核」としての役割を果たしてきたことを踏まえ、地域の代表や地域創生の担い手等から構成される学校運営協議会を設置し、学校と地域がそれぞれの現状や課題を情報共有し、地域の声を学校運営や教育活動に反映させる地域協働型コミュニティ・スクールの導入を段階的に行いました。今後も、地域の課題解決に向けた教育活動を通して、地域の活性化に貢献し、地域の将来を担う人材の育成に取り組みます。
- 地域と密接に連携しながら教育活動を推進するキャリア指導推進校等においても、地域協働型コミュニティ・スクールの導入を検討します。
- 職業教育推進校などでは、教育目標に即した学校の特色化に資する観点から、一つのテーマに焦点を当てて、地域の代表や地域企業、大学の教員等から構成される学校運営協議会を設置し、地域産業の特色を踏まえた教育活動の充実を図るテーマ型コミュニティ・スクールの導入を検討し、地域産業の振興に貢献できる人材の育成に取り組みます。

#### (5) 全日制高等学校における単位制の導入

##### [基本計画との関連]

基本方針3 (12) 進路希望に応じた特色ある高等学校の配置

##### [取組内容]

- 生徒の学習ニーズに応じて、探究型や課題解決型学習による、主体的で質の高い深い学びができるよう、進学指導拠点校に単位制を導入します。

令和4年度導入校			
福島	安積	会津	磐城

※ SPH（スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール）

産業界で必要となる高度な専門知識や技術に対応するため、専門高校等において、大学・研究機関・企業等との連携強化により、社会の変化や産業の動向等に対応した高度な知識・技能を身に付け、社会の第一線で活躍できる専門的な職業人の育成を図る文部科学省の事業のこと。

※ マイスター・ハイスクール事業（次世代地域産業人材育成刷新事業）

専門高校等と産業界等が一体・同期化し、地域の持続的な成長を牽引するため、専門高校等と産業界、地方公共団体が一体となって、最先端の職業人材育成システムを構築するとともに、専門高校等の職業人材にかかる教育課程等の改善に資する実証的資料を得るための研究開発を行う文部科学省の事業のこと。

- 喜多方高等学校においては、生徒の多様な進路希望に応じた授業が展開できるよう、単位制を導入しました。

令和3年度導入校
喜多方（進学指導重点校）

- 生徒の興味や関心に応じた多様な選択科目を設定し、履修ガイダンスや履修コーディネート体制※の充実、大学をはじめとした学校外での学修の単位認定制度の活用など、単位制のメリットが十分生かされるよう教育課程を工夫し、生徒の学習意欲を高めます。

## （6） 全日制高等学校における各学科の充実

### 〔基本計画との関連〕

- 基本方針 3
- (13) 社会の変化に対応した学科の適切な配置
  - (14) きめ細かな指導が可能となる教育環境の整備
  - (15) 学校の特色化と情報発信

### 〔取組内容〕

- 全日制高等学校においては、「普通科・普通系専門学科及び総合学科」と「職業系専門学科」の募集定員を、全県でおおむね2：1の比率とし、各地区の実状や生徒の志願動向を考慮しながら、地区ごとに各学科を適正に配置するとともに、各学科の充実に取り組みます。

#### ① 普通科・普通系専門学科

- ・ 生徒の進路希望に応じて、大学への進学指導を重点的に行う学校、進学や就職など多様な進路にきめ細かく対応できる学校や社会人として必要な基礎基本の定着に力を入れる学校など、普通科等設置校の役割を明確にし、生徒が自らの興味・関心、進路希望に応じて選択できるよう、各学校のさらなる特色化を図ります。
- ・ 大学進学希望者の多い学校においては、高大接続改革に対応した「主体的・対話的で深い学び」の実現に取り組み、生徒の思考力、判断力、表現力を高めるとともに、生徒の知的欲求の喚起を目指し、探究的な授業を展開します。
- ・ 地域を支える人材の育成とともに、高校生による地域づくりの観点から、普通科等設置校において地域のニーズに応えることができるよう、地域と連携した取組を推進します。
- ・ 普通科の中でも就職希望者の多い学校においては、普通教科に加え商業科等の専門科目における学びの充実を図るとともに、キャリア教育の充実に向けて、地域の企業や関係機関等との連携の強化を図ります。
- ・ 基礎基本の定着が必要な生徒に対しては、一人一人が学びの成果を実感できるように個に応じたきめ細かな指導に努めます。

※ 履修ガイダンスや履修コーディネート体制  
 単位制の高等学校において、生徒が自分の興味・関心や進路希望に応じて、数多くの科目の中から最適な科目を選択できるようにするための指導の体制。

## ア 特色ある学科の設置

- 普通科については、Society 5.0 に向けた人材育成を推進するため、学際的な学びに重点的に取り組む学科、地域社会に関する学びに重点的に取り組む学科、その他特色・魅力ある学びに重点的に取り組む学科の設置について引き続き検討します。
- 現在設置している普通系専門学科については、普通科及び総合学科の設置系列との関係、志願動向や社会のニーズ等を踏まえ、その在り方について検討します。
- 複数の教科・科目等における見方・考え方を総合的・統合的に働かせ、探究の過程を通して、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を備え、各分野で活躍する人材の育成に取り組む学科（「探究科(仮称)」）を福島西・福島北統合校に設置します。
- 進展するグローバル社会に対応できるスキルの向上を図り、グローバルな視点と教科横断的な視点に立った資質・能力の育成を進めるため、郡山高等学校の英語科を「グローバル探究科(仮称)」へと学科改編します。
- 修明高等学校の文理科で実施している個別指導等の現在の取組を継承し発展させるとともに、探究活動を深める教育の充実を図り、他者と協働して社会や地域を創造することができる人材を育成するため、修明高等学校の文理科を「文理探究科(仮称)」へと学科改編します。

## イ コース制の導入による魅力化

- 医師や看護師をはじめとした医療従事者や教員などを志す生徒に対し、大学等と連携した体験学習、特別講座及び講演会等を実施することにより、学ぶ意欲の喚起や進路意識の向上を図り、将来本県で活躍できる人材を育成するため、医学、保健・医療、教育、福祉の4つの分野について、教育プログラムとしてのコース制を以下の学校に導入します。

コース名	令和4年度導入校	令和5年度導入校
医学	福島、安積、会津、磐城	
保健・医療	橘、安積黎明、須賀川創英館、いわき湯本	白河、喜多方、相馬、原町
教育	橘、安積黎明	福島東、郡山、葵、磐城桜が丘、相馬、原町
福祉	会津西陵	勿来

- 以下の統合校の普通科においては、幅広い進路希望と学びのニーズに応えるため、教育課程編成に基づくコース制を導入します。

令和3年度	令和4年度	令和5年度
喜多方	須賀川創英館、会津西陵、いわき湯本	梁川・保原統合校



## ② 総合学科

- 大学進学等の進路希望に合わせた選択科目や職業教育に関する選択科目、国際文化・芸術・スポーツなど生徒の興味・関心や能力・適性等に合わせた選択科目をさらに充実させるなど、それぞれの高等学校が取り組んできた教育内容の一層の特色化を図ります。
- 総合学科の原則履修科目である「産業社会と人間」と「総合的な探究の時間」を中心に、地域や産業界等との積極的な連携を図りながら、課題探究的な学びを充実させます。
- 生徒が自己の個性を発見し、将来の生き方や進路について考察できるよう、個に応じたキャリア教育を推進します。
- 多様な選択科目により生徒の幅広い学びのニーズに応えられる学校規模の確保が困難な場合には、統合等の再編整備を検討します。
- 今後の社会の変化に対応した新たな科目群（系列）の在り方を検討します。特に、再編整備を行う総合学科については、これまでの学校の取組や地域の特色を生かした新たな科目群（系列）の導入について検討します。

## ③ 職業系専門学科

- 各分野における最新の知識・技術や産業界の新しい動向に対応して、学科間連携による実践的な学習プログラムなどの取組を進め、教育内容の魅力化を図ります。
- 学科改編による教育内容の魅力化について、中学生や保護者に対してさらに効果的な情報発信を行います。

### ア 農業に関する学科

- 農業に関する専門的で実践的な知識や技能を習得させるとともに、6次産業化やGAP※、福島イノベーション・コースト構想が推進される中で、ICTやIoT※などの先端技術を活用した新しい農業の在り方への対応を図りながら、地域や社会の発展を担う人材を育成します。
- 農業及びその周辺分野の産業界や大学、研究機関との連携を通して、農業に関する技術・技能の専門性を高め、農業及び農業関連産業で活躍する人材を育成します。
- 各地域の産業構造や生徒の志願動向を踏まえつつ、従来の学科の専門性を高めるとともに、多様化している進路希望に対応するため、学科の改編を推進するなど、農業教育の充実を図ります。

---

#### ※ GAP

Good Agricultural Practice（農業生産工程管理）の略で、食品の安全、環境保全、労働安全等を目指す取組のこと。GAPには認証制度が複数あり、GLOBAL G.A.P.（欧州の大手小売りが主導し策定した国際的に広く通用する第三者認証GAP）、JGAP/ASIAGAP（日本の農業者等が参画し作られた第三者認証GAP）などがある。本県では農林水産省ガイドラインに準拠したGAPにより県が認証するふくしま県GAP（FGAP）を創設し、県産農林水産物の安全確保に努めている。

#### ※ IoT

Internet of Things（モノのインターネット）の略で、パソコンやスマートフォン、タブレットといった従来型のICT端末だけでなく、様々な「モノ」がセンサーと無線通信を介してインターネットの一部を構成すること。自動車、家電、ロボット、施設などあらゆるモノがインターネットにつながり、情報のやり取りをすることで、モノのデータ化やそれに基づく自動化等が進展し、新たな付加価値を生み出す。

## イ 工業に関する学科

- 工業に関する専門的で実践的な知識や技能を習得させるとともに、地域生活の安定や経済社会活動の基盤であるインフラを支える産業や、福島イノベーション・コースト構想が推進される中でのロボット関連産業やエネルギー関連産業など新しい工業分野への対応を図りながら、地域産業や社会の発展を担う人材を育成します。
- 企業の即戦力としての専門的な知識や技能を養成する実践的な指導はもちろん、上級学校等への進学指導など多様な進路希望に対応できるよう、個に応じた指導を充実させます。
- AI（人工知能）やIoTなどの専門的な知識・技能の高度化に対応するために、産学官との連携を図るとともに、時代に対応した学科の改編を推進するなど、工業教育の充実を図ります。

## ウ 商業に関する学科

- 商業に関する専門的で実践的な知識・技術を習得させるとともに、ICT活用能力や地域ビジネスを創出する力の伸長により、情報技術の加速度的な進化に伴う産業構造の変化に対応しうる即戦力として、地域産業を支える人材を育成します。
- 就職に直結する実践的な指導や上級学校等への進学指導など、多様な進路希望に対応するため、個に応じた指導を充実させ、高い専門性を有した人材の育成を推進します。
- 経済社会の変化に対応できる力の育成を目指した学科の改編や学習内容の再編など、商業教育の充実を図ります。

## エ 水産に関する学科

- 小名浜地域の特色を生かし、地域企業等と連携しながら、水産に関する技術・技能の専門性を高めるとともに、水産業における6次産業化に対応した商品開発や加工流通などの実践的な学びを通して、地域で活躍する人材の育成を目指します。
- 専攻科においては、本科の学びの上に、より実践的な指導を通して専門知識・技術を習得し、高い専門性を有した人材を育成します。

## オ 家庭に関する学科

- 衣食住、保育、家庭看護や介護等の生活産業に関する科目を総合的に学ぶとともに、地域での実践的な体験活動を通して専門的な知識と技術を身につけ、生活の質の向上を図り、社会の発展に貢献する人材を育成します。

## カ その他の学科

- 情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、情報の各分野に関わる将来のスペシャリストの育成に取り組む専門教科を主とする学科として、「**情報数理科（仮称）**」を平商業・四倉統合校に設置します。また、これまで同様、情報に関する専門的で実践的な知識や技能について、総合学科の系列や工業科、商業科の教育課程の中でも学習できるように対応していきます。
- 福祉に関する学科については、超高齢社会の到来により、福祉関係の業務に従事する人材の育成が急務となっていることから、これまで同様、総合学科の福祉系列や普通科等のコースなどにおいて生徒の興味・関心を喚起するような学びを実践していきます。

## (7) 新しい形態の定時制・通信制高等学校の推進

### [基本計画との関連]

基本方針2 (6) 多様な学習機会の充実

### [取組内容]

- 不登校等により全日制課程の教育に適応しにくい生徒、様々な事情により基礎的な学力が十分に定着しなかった生徒、自分のペースで学習したい生徒など、多様な生徒の学習ニーズや進路希望に対応できる学校づくりを進め、学びの充実を図ります。
- 多部制を取り入れている郡山萌世高等学校やいわき翠の杜高等学校の入学者の現状や、令和4年度に開校するふくしま新世高等学校の志願者の動向を踏まえながら、新しい形態の定時制及び通信制高等学校の在り方を検討し、より学びやすい環境の整備に努めます。

#### ① 定時制高等学校

- ・ 働きながら学ぶ生徒の学習機会確保のために設置されてきた従来の夜間定時制課程において、定員を満たしていない学校が多い一方で、多様な入学動機や学習歴を持つ入学者等が増えていることから、生徒に寄り添った丁寧な学習指導や相談体制を充実させるとともに、集団活動の中で社会性を育成し、進路意識を高めるキャリア教育を推進します。

#### ② 通信制高等学校

- ・ 県立高等学校で唯一の通信制高等学校である郡山萌世高等学校においては、各地区に多くの生徒が在籍し、定時制高等学校と同様に多様な入学動機や学習歴を持つ生徒が多いことから、計画的な添削指導及びスクーリング(面接指導)におけるわかりやすい授業の展開や丁寧な指導により、生徒の学ぶ意欲を引き出し、進路意識を高めるキャリア教育を推進します。
- ・ 今後の生徒数減少の見込みや志願動向等を考慮し、適切な入学定員や通信制協力校等※との連携の在り方について検討します。

## (8) 魅力ある中高一貫教育に向けて

### [基本計画との関連]

基本方針2 (7) 中高一貫教育の推進

### [取組内容]

- 令和2年2月に策定した中高一貫教育後期実施計画※により、併設型、連携型それぞれに魅力的・効果的な中高一貫教育を推進します。

#### ① 併設型中高一貫教育

- ・ 会津学鳳中学校・高等学校においては、6年間の系統的な指導により自己実現に向けて高い目標を設定し、主体的に学習に取り組む姿勢を持った生徒を育成する取組をさらに充実させます。また、他の2校と取組成果の共有を進めます。

※ 通信制協力校等

通信制高等学校が各地域で行う、スクーリングや定期試験等において、教室や施設の提供等の協力を行う高等学校や教育機関等のこと。

※ 中高一貫教育後期実施計画

「県立高等学校改革基本計画」の基本方針及び「県立高等学校改革前期実施計画」に基づき、これまでの本県の中高一貫教育の成果や今般の社会情勢を踏まえ、改めて本県における今後の併設型及び連携型中高一貫教育の在り方についての方向性を示すものとして、令和2年2月に策定した計画のこと。

- ・ ふたば未来学園中学校・高等学校においては、6年間の一貫教育の中で深い学力を育み、グローバルな視点から地域の課題解決に取り組む力を持った生徒を育成する取組を推進します。
- ・ **安積高等学校に併設する県立中学校**においては、令和7年度に開設し、難関大学や医学部を志望する生徒の進路実現に対応する6年間を見通した系統的な教育活動を推進します。また、教育の柱として、STEAM教育を掲げ、新たな時代を切り拓く創造性、表現力、課題解決力等を育成する取組を推進します。
- ・ 併設型中高一貫校の今後の在り方については、既設2校のこれまでの成果を踏まえ、検討していきます。

## ② 連携型中高一貫教育

- ・ 中高一貫教育後期実施計画を踏まえ、引き続き保護者や生徒、地域のニーズに対応したより良い中高一貫教育の在り方について連携先中学校とともに検討します。

## (9) 学校施設の計画的な整備

### [基本計画との関連]

基本方針3 (11) 望ましい学校規模への再編整備の推進

### [取組内容]

- 学校施設の整備について、時代の変化や生徒の学びのニーズに対応した整備を進めるとともに、安全な教育活動が行われるよう、これまでの維持管理の経過や福島県立学校施設長寿命化計画※を踏まえ計画的かつ適切に行います。
- 再編に伴い閉校する学校について、その後の地域振興を踏まえた利活用を検討し、財産の有効利用に努めます。

---

※ 福島県立学校施設長寿命化計画  
 福島県公共施設等総合管理計画（総務部財産管理課策定）に基づき策定した県立学校施設に関する個別施設計画のこと。  
 学校施設の適正かつ効率的な維持管理を進めるための考え方を示したもの。

### Ⅲ章 各高等学校の改革の方向性

#### 1 後期実施計画期間中の中学校卒業見込者数と学級数の推移

本県の後期実施計画期間中の中学校卒業見込者数については、I章の4 (p.7) に示したとおりです。本県の県立高等学校の学級数については、前期実施計画期間中（令和元～5年度）において全県で44学級削減する予定（令和3年11月時点）であり、さらなる少子化の影響により、後期実施計画期間中（令和6～10年度）においても、県全体でさらに削減が必要となります。

一方で、令和11年度は、一時的に中学校卒業見込者数が、令和10年度より約1,000人増加する見込みです（p.7図2）。入試における公立比（地区内の全高等学校に進学した生徒数のうち、県立全日制課程高等学校に進学した生徒数の実績値の割合）や地域、学校の状況等を勘案すると、後期実施計画期間において、県立高等学校の学級数は、県全体で36学級の削減が必要となります（表1）。

後期実施計画期間中も引き続き、全ての高等学校において、中・長期的な学級数の見通しを立てて高等学校の在り方を検討していく必要があります。

#### 2 全日制課程の改革の方向性

各地区の中学校卒業見込者数及び減少見込数は以下のとおりです（表1）。広域にわたって人口が分散している本県においては、各地区の実状に応じて今後の高等学校の再編整備や学校規模を検討していく必要があります。

なお、学級の減少数は、卒業見込者の減少数をはじめ、入試の志願動向や募集定員の充足状況などの各地区の実状を踏まえ、あくまで現段階で想定される見込みであり、様々な要因によって変動する可能性があります。

表1 令和5年3月以降の中学校卒業（見込）者数と学級の減少見込数（各地区・全県）

地 区 (学校数 * 1)	前期実施計画		後 期 実 施 計 画				学級の減少数 の合計 (前期後期)
	令和5年3月 卒業見込者数	学級の 減少数	令和10年3月 卒業見込者数	卒業見込者 の減少数	令和11年3月 卒業見込者数	令和11年度を見通した 学級の減少数の目安*2	
県北(14校)	3,834	12	3,308	526	3,663	7	19
県中(16校)	4,550	10	4,071	479	4,269	9	19
県南(5校)	1,234	3	1,111	123	1,222	3	6
会津(14校)	2,146	10	1,894	252	1,926	8	18
いわき(13校)	2,875	7	2,565	310	2,696	6	13
相双(6校)	900	2	723	177	834	3	5
全県(68校)	15,539	44	13,672	1,867	14,610	36	80

出典は、p.7の図2と同じ。

\*1 学校数

令和5年度に生徒募集を行う予定の県立の全日制高等学校の数。

\*2 令和11年度を見通した学級の減少数の目安

各地区の令和元年度から令和3年度入試の公立比等を考慮した県立高等学校への進学見込者数から算定。

そこで、以下の①～③の基本的な考えのもと、各校の後期実施計画期間中の改革の方向性を地区ごとに示すこととしました。

- ① 全日制高等学校については、望ましい学校規模（1学年4～6学級）や入試の状況等を考慮しながら、学校の再編、各校の学級数の期間内の増減を計画的に進めます。  
なお、「各校の改革の方向性」における学級数計と計画値が、一致しない地区については、計画値を基準として、中学校卒業見込者の増減や入試の志願動向により学級数を適切に定めます。
- ② 地区内で生徒の多様な進路希望に対応できるよう、全日制高等学校を「進学指導拠点校」「進学指導重点校」「キャリア指導推進校」「地域協働推進校」「職業教育推進校」のいずれかに位置づけるとともに、定時制・通信制高等学校も含めて、各校の特色や計画期間中の方向性を明示します。
- ③ 生徒の希望する学びの内容に応じて、「普通科・普通系専門学科」「総合学科」「職業系専門学科」を地区ごとにバランスよく配置するとともに、特色ある新しい学科の設置について検討します。

## (1) 県北地区

### 中学校卒業見込者と学級数の見込み

年 月	令和5年3月		令和10年3月
中学校卒業見込者	3,834人	→	3,308人
年 度	令和5年度 (前期最終年度)		令和10年度 (後期最終年度)
公立募集学級	(67)学級	→	60学級
学級数の増減の目安			7学級減

### 各校の改革の方向性

\* 職業系専門学科の学科名は大学科を記載。表内の数字は学級数を示す。

学校名	学科	R5 年度 予定	後期計画		各校の方向性
			R10 年度	期間内 増減	
福島	普通	7	6	△1	<b>進学指導拠点校</b> ○進学指導のリーダー校として、単位制の特徴を生かした、より高度な学びの追究や難関大学等に対応した進路指導による、未来を牽引する人材の育成。 ○梅章のおしえ「清らかであれ、勉強せよ、世のためたれ」のもと、SSH事業やこれまでの成果を継承した、県内の学習指導、進学指導をリードする取組の推進。 ○全校生が課題研究に取り組むなど、探究的な学びの実践による、主体的に考え、協働的に行動できる人材の育成。
橘	普通	6	6	0	<b>進学指導重点校</b> ○質の高い授業の実践と、進学指導を充実させた大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○生徒の自主的な進路選択を促し、進路意識の早期確立を図る多様な行事を柱とした進路指導。洗練された文化の創造を目標とした活動及び「探究ゼミ」による、高い志と自ら学び考える力の育成。 ○授業第一主義と文武両道を目標に掲げ、質の高い授業ときめ細かな個別指導を核とした、学力向上と進路実現を図る取組の推進。
福島商業	商業	6	5	△1	<b>職業教育推進校</b> ○商業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動による生徒の知識・技能の向上と多様な進路希望の実現など、地域産業を支える核となる人材の育成。 ○ビジネスリテラシーの習得を基本に、資格取得や文武両道等を推進し、豊かな人間性を養い、産業社会の変化に対応できる、健全で持続的な社会を担う将来の職業人の育成。 ○地域社会及び大学等と連携した教育活動の展開や地域ビジネス共創活動の実践的取組により、自ら課題を発見し、倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力の育成。
福島明成	農業	5	5	0	<b>職業教育推進校</b> ○農業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動による生徒の知識・技能の向上と多様な進路希望の実現など、地域産業を支える核となる人材の育成。 ○農業の重要性を理解し、興味関心を持って意欲的に学び、農業の基本的な知識・技術を身に付けて、持続可能な農業の展開や地域社会の活性化に寄与できる人材の育成。 ○農業のグローバル化や法人化、6次産業化に関する知識・技術の習得を図るとともに、経営感覚を養い、農業の技術革新に対応できる人材の育成。
福島工業	工業	6	5	△1	<b>職業教育推進校</b> ○工業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動の推進と、職業人としての倫理観を持って地域産業界の発展に貢献できる人材の育成。 ○産業界の動向を注視し、伝統技術を踏まえた上での、先進技術に関する学びの導入及び地域産業界等との連携を図り、時代の要請に応じた質の高い工業教育の実践による、「信頼され続ける工業高校」を目指す取組の展開。 ○事故の未然防止を図る5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)活動の推進。

学校名	学科	R5 年度 予定	後期計画		各校の方向性
			R10 年度	期間内 増減	
福島西・ 福島北 統合校	探究 (仮称)		1	1	進学指導重点校 令和9年度統合予定 統合校の方向性は、29 ページに記載
	探究 併修		1	1	
	総合		4	4	
福島西	普通	4	0	△4	令和9年度、統合により募集停止
	探究 併修	1	0	△1	
福島北	総合	4	0	△4	令和9年度、統合により募集停止（統合までに3学級となる予定）
福島東	普通	6	6	0	<b>進学指導重点校</b> ○質の高い授業の実践と、進学指導を充実させた大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○「創造・協調・躍進」を校訓とし、「文武両道」を実践しながら、生徒の個性・能力に応じた教育を徹底し、大学進学等に対応する高い学力の育成及び変化の激しい時代をたくましく生きる力の育成。 ○探究型・対話型の魅力ある授業による豊かで深い学びの追究。
福島南	文理	2	2	0	<b>キャリア指導推進校</b> ○各科の特色を生かし、国内外と連携した教育活動の充実による生徒の学びの質の向上と、生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育の推進。 ○商業に関する専門的な知識・技能の習得と資格取得を目指すなど、普通教育と商業教育の推進による地域を支える人材の育成。 ○文理科における多様で特色ある学校設定科目やサイエンスセミナー等の実践的な授業の展開による、大学進学を目指す探究的な学びの推進。国際文化科におけるALTを活用した授業やイギリスの姉妹校交流などを実践し、英語力を高め大学進学を実現。情報会計科における高度な資格・検定の取得を通じた学びによる、進学から公務員、民間企業への就職までの幅広い進路希望の実現。
	国際文化	1	1	0	
	商業	1	1	0	
川俣	普通	1	1	0	<b>地域協働推進校、コミュニティ・スクール</b> ○地域と協働した学校づくりの推進による教育活動の充実と、生徒の進路希望に対応したキャリア教育の実践による、地域創生の核となる人材の育成。 ○地域やその課題について学び、解決策を提案する「地域探究」の取組による、コミュニケーション能力の向上と適切な職業観・勤労観の育成。 ○ふくしまイノベーション人材育成推進校として、地域と連携した教育課程の研究やアクティブ・ラーニングの実践を通じた授業改善による、充実した教育活動の展開。
梁川・ 保原 統合校	普通	6	6	0	<b>キャリア指導推進校</b> ○生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育や地域と連携した教育活動等を通じた生徒の学びの充実による、地域を支える核となる人材の育成。 ○進路希望に対応できるコース制の導入やICT機器の活用、習熟度別授業及び少人数指導による、きめ細かな教育活動の実現。 ○伊達市や地域企業等と連携した地域探究学習による地域の魅力化・活性化への取組など、地域連携活動の充実。
安達	普通	4	4	0	<b>キャリア指導推進校</b> ○生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育や地域と連携した教育活動等を通じた、生徒の学びの充実による、地域を支える核となる人材の育成。 ○県内高校唯一のユネスコスクールとして、SDGsの指針に基づく探究活動や国際理解教育を通じた社会（地域）の未来形成につながる主体性・多様性・協働性の育成。 ○基礎・基本の定着をふまえた主体的・対話的で深い学びの展開及び生徒の力や可能性を引き出す個に応じた指導やサポートを通じた進路希望の実現。
二本松工業 ・安達東 統合校	工業	3	3	0	<b>職業教育推進校</b> ○二本松・安達地区の工業教育の拠点として、個に応じた丁寧な指導と社会人講師による技術指導や講義等を通じた高い専門性を身に付ける教育活動による、創造性豊かで地域産業の中核を担う人材の育成。 ○県内唯一の家庭科の設置校として、地域や関係団体等と連携した実践的・体験的な学びによる、ふくしまの生活と産業を支える人材の育成。 ○二本松・安達地区を学びのフィールドとした探究活動や、工業科と家庭科の学科間連携による協働した学びの推進。
	家庭	1	1	0	



学校名	学科	R5 年度 予定	後期計画		各校の方向性
			R10 年度	期間内 増減	
本宮 ※	普通	2	2	0	<b>キャリア指導推進校</b> ○生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育や地域と連携した教育活動等を通じた、生徒の学びの充実。また、商業に関する専門的な知識・技能の習得と資格取得を目指すなど、普通教育と商業教育の推進による地域を支える人材の育成。 ○生徒が自らの適性を発見し能力を開発する取組を通じた、人生を切り拓き社会の中で主体的に行動できる、よりよく生きていく力の育成。 ○地元本宮市との包括連携協定を基盤とした地域や社会と関わる探究活動等、特色ある教育活動の展開。
	商業	1	1	0	
学級数計		67	61	△6	
計画値			60	△7	

## 県北地区の再編整備の方向性

### ① 福島西・福島北統合校

**開校年度**：令和9年度予定

**使用校舎**：福島西高等学校の校舎

**学科構成**：探究科（仮称）1学級、デザイン科学科1学級、総合学科4学級（計6学級）

#### 統合校における教育活動の方向性：

- 質の高い授業の実践と進学指導を充実させることにより、大学等への進路指導体制を強化するとともに、各分野のリーダーとして活躍し、社会の発展に貢献する人材を育成する学校として、進学指導重点校に位置づけます。
- 新設する「探究科（仮称）」については、新しい時代に必要な資質と能力を育む探究型学習を充実させ、高い進路目標の実現を図ります。
- 福島西の取組を継承する「デザイン科学科」については、国内有数の美術系学科としての特色ある教育活動により、難関芸術系大学への進学を含めた国内外で活躍できる人材の育成を図ります。
- 福島北が取り組んでいる総合学科の特色を生かし、生徒の学習ニーズに合わせた科目群（系列）の充実により、幅広い進路希望を実現します。

#### 検討する統合校の特色化：

大学等と連携し、SDGsの視点を取り入れた学習の実践。STEAM教育の実践による系列及び学科横断的な学びの充実。主体的・対話的で深い学びの実現を目指すアクティブ・ラーニングの推進。

※ 本宮高等学校については、今後、特別支援学校を併設し、インクルーシブ教育システムの推進を図る観点から、1学年3学級であっても統合対象外とします。

## (2) 県中地区

### 中学校卒業見込者と学級数の見込み

年 月	令和5年3月		令和10年3月
中学校卒業見込者	4,550人	→	4,071人
年 度	令和5年度 (前期最終年度)		令和10年度 (後期最終年度)
公立募集学級	(80)学級	→	71学級
学級数の増減の目安			9学級減

### 各校の改革の方向性

\* 職業系専門学科の学科名は大学科を記載。表内の数字は学級数を示す。

学校名	学科	R5 年度 予定	後期計画		各校の方向性
			R10 年度	期間内 増減	
安積	普通	7	6	△1	<b>進学指導拠点校</b> ○進学指導のリーダー校として、単位制の特徴を生かした、より高度な学びの追究や難関大学等に対応した進路指導による、未来を牽引する人材の育成。 ○中高一貫校の利点である6年間の系統的で継続的な指導を生かした、高いレベルの進路実現に向け主体的に学ぶ生徒の育成。 ○「開拓者精神」のもと、知・徳・体を錬磨し、高い志をもって世界で活躍できるリーダーの育成。 ○授業第一主義のもと、県内の学習指導及び進学指導をリードする、探究的な活動を重視した質の高い授業の実践や、確かな学力と高い知性を育む取組の推進。
安積黎明	普通	7	6	△1	<b>進学指導重点校</b> ○質の高い授業の実践と、進学指導を充実させた大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○地域や社会に開かれたカリキュラムの充実を図り、多様な領域で活躍する感性豊かな人材の育成を目指した、探究的に学ぶキャリア教育の推進。 ○「保健・医療」及び「教育」コースの導入による、職業観や進路意識の醸成と進路希望の実現。また、芸術・文化活動においても県をリードする取組の実践。
郡山東	普通	6	6	0	<b>進学指導重点校</b> ○質の高い授業の実践と、進学指導を充実させた大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○個に応じた、きめ細かな指導による進路希望の実現。 ○探究活動を通じた、学びたい分野から大学進学につなげる進路指導の実践。 ○ICT教育の実践と、英語4技能の充実を図る取組の推進。 ○グローバルな視野で課題を捉え、未来を見据えて社会貢献できる人材の育成。
郡山商業	商業	6	6	0	<b>職業教育推進校</b> ○商業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動による、生徒の知識・技能の向上と多様な進路希望の実現など、地域産業を支える核となる人材の育成。 ○ビジネスにおけるマネジメント能力の向上に必要な、創造力・発想力の豊かな人づくり及びICT活用力を向上させる取組の推進。 ○実学を重視した体験的・実践的な学習を通じた専門性の深化と、個に応じた丁寧な指導による、資格取得の向上を目指した取組の推進。
郡山北工業	工業	7	6	△1	<b>職業教育推進校</b> ○工業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動の推進と、職業人としての倫理観を持って地域産業界の発展に貢献できる人材の育成。 ○地域産業や時代のニーズに対応した工業人の育成及び地域産業の活性化に貢献できる、新しい産業創出に関わる人材の育成。 ○ロボット製作などの、ものづくり教育のさらなる充実と、全国トップレベルの資格取得率をより向上させる教育活動の推進。

学校名	学科	R5 年度 予定	後期計画		各校の方向性
			R10 年度	期間内 増減	
郡山	普通	5	5	0	進学指導重点校 方向性は、32 ページに記載
	英語	1	0	△1	
	グローバル探究 (仮称)		1	1	
あさか開成	国際科学	4	4	0	キャリア指導推進校 ○生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育や地域と連携した教育活動等を通じた、生徒の学びの充実による、地域社会と国際社会を創造する人材の育成。 ○SDG s を基本的な考え方とし、自らのキャリア形成と関わらせながら、社会の課題解決を目指す探究的な学びを通して、持続可能な社会の実現に寄与する人材の育成。 ○国内外の多様な人との出会いと経験を積み重ねる教育活動による、多様性を意義あるものと認識し、多様な人々と協働して新しい価値を創造する能力と態度の育成。
湖南	普通	1	1	0	地域協働推進校、コミュニティ・スクール ○地域と協働した学校づくりの推進による教育活動の充実と、生徒の進路希望に対応したキャリア教育の実践による、地域創生の核となる人材の育成。 ○きめ細かな学習指導による、「学び直し」として必要な「基礎学力の定着」及び地域の学校として地元の小中学校や関係機関との連携の推進。 ○湖岸清掃や除雪ボランティア、湖南の文化や自然を学ぶ「ぐるっと湖南」等の行事を通し、地域の課題を生徒自らが気付き・解決しようとする教育活動の展開。
須賀川創英館	普通	6	6	0	キャリア指導推進校 ○生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育や、地域と連携した教育活動を通じた生徒の学びの充実による、地域を支える核となる人材の育成。 ○進路希望に対応できるコース制の導入やICT機器を活用したアクティブ・ラーニング型の授業など、個に応じた丁寧な学習指導の充実による、きめ細かな教育活動の実現。 ○地域の医療機関や企業、行政と連携した教育活動や、地域に対する理解を深め、自己の将来の在り方を探究する活動など地域連携活動の充実。
須賀川桐陽	普通	5	4	△1	進学指導重点校 ○質の高い授業の実践と、進学指導を充実させた大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○大学等との連携のもと、探究的な学びを発展させた取組による、生徒の学習に対する主体的な態度や発信力、行動力を鍛える教育活動の推進。 ○基礎学力向上に向けた取組と進路ガイダンスの充実及び進学指導における小論文や面接などの丁寧な個別指導の実施。
	数理学	1	1	0	
清陵情報	工業	3	3	0	職業教育推進校 ○地域企業等との連携による工業・商業教育の充実に加え、専門的な知識・技能の習得と進路希望に応じたキャリア教育による、地域産業を支える人材の育成。 ○情報の学びに力を入れた工業系・商業系の学科をもつ専門高校として、専門性、学力、人間性を向上させることによる、進学や就職にも対応できる教育活動の推進。 ○情報科目を中心とした教育課程とICT機器を活用した教育の推進による、情報活用能力の向上を目指した取組の展開。
	商業	3	3	0	
岩瀬農業	農業	6	6	0	職業教育推進校 ○農業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動による、生徒の知識・技能の向上と多様な進路希望の実現など、地域産業を支える核となる人材の育成。 ○農作物や家畜などの生き物を通じて生命を慈しむ豊かな人間性の育成を図るとともに、地域と連携した農業の6次産業化に対応した学習、農業の学びを活用した福祉に関する学習、さらに国際社会やグローバル化、SDG s に対応した先端技術の学習などを通して、福島から世界へ広がる時代の進展に対応した魅力ある取組の推進。
石川	普通	2	1	△1	地域協働推進校、1学級本校化（令和6年度）、コミュニティ・スクール ○地域と協働した学校づくりの推進による教育活動の充実と、生徒の進路希望に対応したキャリア教育の実践による、地域創生の核となる人材の育成。 ○確かな学力の定着や適切な職業観・勤労観の形成を通じた「生きる力」や「人間力」など生徒の社会的・職業的自立に必要な能力や態度の育成。 ○石川町や商工会との連携協定に基づくキャリアチャレンジや地域課題探究活動による地域コミュニティの再生・活性化など、地域と連携し協働する教育活動の展開。

学校名	学科	R5 年度 予定	後期計画		各校の方向性
			R10 年度	期間 増減	
田村	普通	4	3	△1	<b>キャリア指導推進校</b> ○生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育や地域と連携した教育活動等を通じた、生徒の学びの充実による、地域を支える核となる人材の育成。 ○県内唯一の体育科の設置校として、競技力の向上とスポーツを通して人間力を身に付けることによる、国内はもとより世界で活躍できる人材の育成。 ○普通科において特進クラスを設けるなど、生徒の多様な進路目標実現を目指した進路指導の充実。
	体育	1	1	0	
船引・小野 統合校	総合		4	4	<b>キャリア指導推進校</b> <b>令和8年度統合予定</b> <b>統合校の方向性は、32ページに記載</b>
船引	普通	3	0	△3	令和8年度、統合により募集停止
小野	総合	2	0	△2	令和8年度、統合により募集停止
学級数計		80	73	△7	
計画値			71	△9	

## 県中地区の再編整備の方向性

### ① 船引・小野統合校

**開校年度**：令和8年度予定

**使用校舎**：船引高等学校の校舎

**学科構成**：総合学科4学級

**統合校における教育活動の方向性**：

- 総合学科の特色を生かし、生徒の学習ニーズや進路希望に合わせた多様な科目群（系列）を設置することで生徒の学びを充実させ、地域を支える核となる人材を育成する学校として、キャリア指導推進校に位置づけます。
- 船引の取組を継承し、自治体や地域企業との連携等によりデュアルシステム※を実践するなど、生徒の職業観を育むキャリア教育を充実させます。
- 小野の取組を継承し、地域資源を活用した商品開発に取り組むなど、社会に積極的に関わる教育活動を実践します。

**検討する統合校の特色化**：

生徒の学習ニーズや進路希望に合わせた、丁寧な学習指導や進路指導。デュアルシステムを含めた多様な科目の設置。自治体や地域企業と連携した地域課題探究型学習。

### ② 郡山高等学校

**学科改編年度**：令和6年度予定

**学科改編の方向性**：

- 英語科については、「グローバル探究科（仮称）」への学科改編を行い、SDGs等のグローバルな視点を踏まえ、文理の枠を超えた教科横断的な探究学習を充実させることにより、創造性あふれ新たな価値を生み出す人材を育成します。

※ デュアルシステム

学校と企業が連携し、生徒を育てる教育制度。学校では、マナー教育や安全教育、社会に出るための基礎学力等を養い、企業では、実際に企業で仕事をするを通じて専門的な知識・技能を磨くとともに職業人としての意識を養成する。

### **郡山高等学校における教育活動の方向性：**

- 質の高い授業の実践と進学指導を充実させることにより、大学等への進路指導体制の強化を図り、各分野のリーダーとして活躍し、社会の発展に貢献する人材を育成します。
- 文武両道の実践・追求により、新しい時代に対応できる学力と心身の健康を身につけ、大学進学を中心とした生徒の進路希望を実現します。
- 探究的な教育活動の推進や丁寧な指導により、難関大学を志望する生徒に対する進学指導体制の充実を図ります。
- 県指定の教育プログラムとしての「教育」コースの導入に向けた指導体制を構築するとともに、体験学習や講演会等の取組の充実を図ります。

### (3) 県南地区

#### 中学校卒業見込者と学級数の見込み

年 月	令和5年3月		令和10年3月
中学校卒業見込者	1,234人	→	1,111人
年 度	令和5年度 (前期最終年度)		令和10年度 (後期最終年度)
公立募集学級	(26)学級	→	23学級
学級数の増減の目安			3学級減

#### 各校の改革の方向性

\* 職業系専門学科の学科名は大学科を記載。表内の数字は学級数を示す。

学校名	学科	R5 年度 予定	後期計画		各校の方向性
			R10 年度	期間内 増減	
光南	総合	5	4	△1	<b>キャリア指導推進校</b> ○総合学科の特色を生かし、生徒の興味関心や進路希望に合わせた多様な選択科目群(系列)の設置及びキャリア教育の充実により、地域の核となって活躍する人材の育成。 ○特色あるたくさんの専門科目を設け、実習やICTを取り入れた授業や課題研究を通して、生徒の個性の伸長を図り、他者と協働して新たな価値を創造する力の育成。 ○多様な進路希望の実現を図るため、丁寧な個別指導や資格取得に向けた指導の充実。 ○矢吹町を始め様々な組織との連携を通して、地域の活性化を図る学校づくりの推進。
白河	普通	5	4	△1	<b>進学指導重点校</b> ○質の高い授業の実践と、進学指導を充実させた大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○きめ細かな学習指導や進路指導、普通科コース制導入による生徒の進学希望の実現と、文武両道の奨励を通じた、「地域とともにある愛される学校」を目指す取組の推進。 ○難関大学等への進学に対応した学習指導と、総合的な探究の時間や理数探究などの探究的な学習の展開による、生徒が主体的に学ぶ姿勢を重視した教育活動の推進。
	理数	1	1	0	
白河旭	普通	4	4	0	<b>進学指導重点校</b> ○質の高い授業の実践と、進学指導を充実させた大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○3年間の計画的な指導により多様な進路希望を確実に実現させる「進路ストーリー」や、文武両道を目指すためのきめ細かな学習指導による学力向上に向けた取組の展開。 ○探究的な学びや課題解決型学習、ボランティア活動への参加奨励等による主体性と協働力等の資質・能力の育成と、家庭や地域と連携・協力しての開かれた学校づくりの推進。
白河実業・ 埴工業 統合校	工業	5	5	0	<b>職業教育推進校</b> ○工業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動を推進し、職業人としての倫理観を持って地域産業界に貢献できる人材の育成。 ○工業科(機械科、電気科、電子科、建築科)における、学科連携型のSDGsを踏まえた課題解決学習の推進により、広い視野で物事を捉えることができる人材の育成。 ○商業に関する高い専門性を身に付けるための教育活動による、知識・技能の向上と多様な進路希望の実現など、地域産業を支える核となる人材の育成。
	商業	1	1	0	
修明	文理	1	0	△1	<b>職業教育推進校</b> 方向性は、35ページに記載
	文理探究 (仮称)		1	1	
	農業	3	3	0	
	商業	1	1	0	
学級数計		26	24	△2	
計画値			23	△3	

## 県南地区の再編整備の方向性

### ① 修明高等学校

**学科改編年度**：令和6年度予定

**学科改編の方向性**：

- 文理科については、「文理探究科（仮称）」への学科改編を行い、地域課題を探究する学習にSDGsの視点を取り入れ、ローカルな課題とグローバルな課題を結び付ける学習活動などに広げることで、多様な他者と共に豊かな社会や地域を創造できる人材を育成します。

**修明高等学校における教育活動の方向性**：

- 農業教育の拠点として、また商業教育の実施校として、高い専門性を身に付けるための学びを深化させ、地域を支える核となる人材を育成します。
- 文理探究科（仮称）におけるきめ細かな指導の推進により、四年制大学や短期大学等への進路希望に対応します。
- 文理探究（仮称）・農業・商業の大学科を持つ県内唯一の高等学校として、各学科の授業における総合選択制、農商連携の販売実習や課題研究などを通じた、学科横断型学習や地域探究活動の実践により、課題解決能力を育成します。
- 専門性の深化 (Speciality)、最適解の探究 (Solution)、地域への貢献 (Service)、共生への視点 (Socialization) の4Sをキーワードに、地域と協働しながら心豊かで素直な人間性を養成します。

#### (4) 会津地区

##### 中学校卒業見込者と学級数の見込み

年 月	令和5年3月		令和10年3月
中学校卒業見込者	2,146人	→	1,894人
年 度	令和5年度 (前期最終年度)		令和10年度 (後期最終年度)
公立募集学級	(49)学級	→	41学級
学級数の増減の目安			8学級減

##### 各校の改革の方向性

\* 職業系専門学科の学科名は大学科を記載。表内の数字は学級数を示す。

学校名	学科	R5 年度 予定	後期計画		各校の方向性
			R10 年度	期間内 増減	
会津	普通	6	5	△1	<b>進学指導拠点校</b> ○進学指導のリーダー校として、単位制の特徴を生かした、より高度な学びの追究や難関大学等に対応した進路指導による、未来を牽引する人材の育成。 ○地域に根ざした諸課題に対して、大学等と連携し、多面的・多角的な視点からの様々な探究活動の実践による、論理的思考力やコミュニケーション能力、リーダーシップ等を身に付けた、会津から世界へ発信できるグローバルリーダーの育成。
葵	普通	5	4	△1	<b>進学指導重点校</b> ○質の高い授業の実践と、進学指導を充実させた大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○「私の選択には意志がある」をスローガンに、課題探究型学習の「葵ゼミ」やICT機器の効果的運用を含めたアクティブ・ラーニング型授業の一層の推進による、生徒の主体性の育成。また、英語4技能の育成を図る指導法の研究・改善による、生徒の英語力向上及び大学等への進路実現を目指す取組の展開。
会津学鳳	総合	5	4	△1	<b>進学指導重点校</b> ○中高一貫校の利点である6年間の系統的で継続的な指導を生かした、将来、各分野のリーダーとして活躍し、社会の発展に貢献する優れた人材の育成。 ○総合学科の特長である専門科目を含めた多彩な科目の選択制を生かし、難関大学進学を含めた生徒の多様な進路希望実現に向けた、きめ細かな指導の推進。 ○グローバルな視野や高度な思考力を養うための、国際交流やSSH事業、会津大学等との連携、課題研究等の探究的活動の積極的な展開。
若松商業	商業	4	4	0	<b>職業教育推進校</b> ○商業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動による、生徒の知識・技能の向上と多様な進路希望の実現など、地域産業を支える核となる人材の育成。 ○商業教育は「人づくり」であることを重視した、学力向上と文武両道の実践による、人間性・社会性の育成を目指す全人的な教育の推進。 ○生徒を株主とした模擬株式会社「若商デパート」を、地域と連携しながら生徒主体で運営を行うなどの、実践的な商業教育の展開。
会津工業	工業	5	4	△1	<b>職業教育推進校</b> ○工業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動の推進と、職業人としての倫理観を持って地域産業界の発展に貢献できる人材の育成。 ○地域企業と連携した「共同課題研究」などの事業をはじめとする、科学技術の進展や産業構造の変化等に対応できる能力の向上を目指した、教育活動の推進。 ○SDGsを意識した、ものづくり教育のさらなる充実と高い資格取得率をより向上させる工業教育の展開。



学校名	学科	R5 年度 予定	後期計画		各校の方向性
			R10 年度	期間内 増減	
喜多方	普通	5	5	0	<b>進学指導重点校</b> ○質の高い授業の実践と、進学指導を充実させた大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○コース制及び単位制の特徴、ICTを活かした教育活動の推進により、生徒の多様な進路希望に対応。 ○喜多方市や地域企業、喜多方市姉妹都市等と連携した地域探究学習や国際交流による、地域貢献への意識の醸成と主体性、協働性、創造性の育成。
喜多方桐桜	工業	3	3	0	<b>職業教育推進校</b> ○地域企業等との連携による工業・商業教育の充実に加え、専門的な知識・技能の習得と進路希望に応じたキャリア教育による、地域産業を支える人材の育成。 ○工業と商業の体験的・実践的な学習を通じた学びを、生徒の進路選択に生かす取組の推進と、資格取得や各種大会の参加を通じた、自ら学ぶ意欲の喚起。 ○地域に信頼される学校として、地域の小中学校及び企業等と連携した授業や商品開発など、地域密着型の取組の推進による、地域貢献意識を持つ職業人の育成。
	商業	1	1	0	
猪苗代	普通	1	1	0	<b>地域協働推進校、コミュニティ・スクール</b> ○地域と協働した学校づくりの推進による教育活動の充実と、生徒の進路希望に対応したキャリア教育の実践による、地域創生の核となる人材の育成。 ○観光業・農業・防災教育など地域の教育資源を活用した探究的な学習活動を通じ、地域で活躍できる人材を育成する教育カリキュラムの実施。 ○個に応じた進学指導、コース制の導入、専門学校と提携した公務員試験対策、地域行事への積極的な参加など、地域と連携した実践的なキャリア教育の推進。
西会津	普通	1	1	0	<b>地域協働推進校、コミュニティ・スクール</b> ○地域と協働した学校づくりの推進による教育活動の充実と、生徒の進路希望に対応したキャリア教育の実践による、地域創生の核となる人間の育成。 ○西会津町の教育資源を活用した、地域活性化の一翼を担う学校づくりの実践と、西高PC～Public Commitment & Plan Check～に掲げる7つの力「自己肯定力」「思考力」「課題解決力」「継続力」「傾聴力」「発信力」「協働力」を育む授業や特別活動、学校行事等の展開。
会津西陵	普通	4	4	0	<b>キャリア指導推進校</b> ○生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育や地域と連携した教育活動を通じた生徒の学びの充実による、地域を支える核となる人材の育成。 ○進路希望に対応できるコース制の導入や少人数・習熟度別授業、ICT機器を活用したアクティブ・ラーニング型の授業など、個に応じた丁寧な学習指導の推進。 ○地域の行事等へ積極的に関わることによる社会性の育成と、地域の課題に対する探究活動による地域づくりに貢献する意識の醸成。
川口	普通	1	1	0	<b>地域協働推進校、コミュニティ・スクール</b> ○地域と協働した学校づくりの推進による教育活動の充実と、生徒の進路希望に対応したキャリア教育の実践による、地域創生の核となる人材の育成。 ○地域から信頼される1学級規模の学校として、地域の教育資源を活用した教育環境の充実による、自らの手で地域づくりに貢献する人材の育成。 ○地区外や県外出身の生徒に対し、学校と寮とが協調した指導を行うなど、地域全体での温かい指導による、人間性を高める取組の推進。
耶麻農業・ 会津農林 統合校	農業	4	4	0	<b>職業教育推進校</b> ○農業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動による、生徒の知識・技能の向上と多様な進路希望の実現など、地域産業を支える核となる人材の育成。 ○発酵・醸造や、そばの生産からそば打ちなど会津の豊かな農業資源の継承・発展に寄与する学びをとおして地域の発展に貢献できる人材の育成。 ○地域や企業、大学等と連携した体験活動を伴う実践的な職業教育を推進し、専門的な知識や技能の習得と職業観、勤労観の形成。
田島・ 南会津 統合校	総合	3	3	0	<b>キャリア指導推進校</b> ○総合学科の特色を生かし、生徒の学習ニーズや進路希望に合わせた4つの系列の設置と探究的な学びの実践及びキャリア教育の充実による、地域を支える核となる人材の育成。 ○地域資源を生かした体験的な学習及び系統的な進学指導・職業教育による、地域産業界の未来に貢献できる人材の育成。 ○隣接する特別支援学校と連携したインクルーシブ教育システムの推進。

学校名	学科	R5 年度 予定	後期計画		各校の方向性
			R10 年度	期間内 増減	
只見	普通	1	1	0	<b>地域協働推進校、コミュニティ・スクール</b> ○地域と協働した学校づくりの推進による教育活動の充実と、生徒の進路希望に対応したキャリア教育の実践による、地域創生の核となる人材の育成。 ○豊かな自然と文化に恵まれた地域の学びとICT活用による広い視野の学びを通して、発見した課題を主体的に解決する教育活動を展開し、未来を創造する力の育成。 ○県内外からの生徒受け入れによる交流活動を通じた社会性、人間性の育成及び地域創生の一翼を担う人材「グローバル・リーダー」育成を重視する学校づくりの推進。
学級数計		49	45	△4	
計画値			41	△8	

## (5) いわき地区

### 中学校卒業見込者と学級数の見込み

年 月	令和5年3月		令和10年3月
中学校卒業見込者	2,875人	→	2,565人
年 度	令和5年度 (前期最終年度)		令和10年度 (後期最終年度)
公立募集学級	(58)学級	→	52学級
学級数の増減の目安			6学級減

### 各校の改革の方向性

\* 職業系専門学科の学科名は大学科を記載。表内の数字は学級数を示す。

学校名	学科	R5 年度 予定	後期計画		各校の方向性		
			R10 年度	期間内 増減			
磐城	普通	7	6	△1	<b>進学指導拠点校</b> ○進学指導のリーダー校として、単位制の特徴を生かした、より高度な学びの追究や難関大学等に対応した進路指導による、未来を牽引する人材の育成。 ○思考力・判断力・表現力の育成に重点を置いた教育課程の展開や、3年間の計画的な教育活動の積み上げによる、生徒の進路希望の実現。 ○探究的な学びや課題解決型の学習を重視し、主体的で対話的な学びによる深い理解に基づく、社会を生き抜く発想力・行動力を鍛える取組の実践。		
磐城桜が丘	普通	6	6	0	<b>進学指導重点校</b> ○質の高い授業の実践と、進学指導を充実させた大学等への進路指導の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献できる人材の育成。 ○ICT機器等を活用した授業、対面的・探究的な授業を通じた、主体的な学びや資質や能力の育成。 ○正義と礼節を守り、民主的・道徳的な態度や豊かな人間性を備え、高潔な品性と寛容な精神にあふれる生徒の育成。		
平工業	工業	6	6	0	<b>職業教育推進校</b> ○工業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動の推進と、職業人としての倫理観を持って地域産業界の発展に貢献できる人材の育成。 ○「福島イノベーション・コースト構想」や「バッテリーバレー構想」におけるロボット、再生可能エネルギー、AI、環境など、先進的な知識・技術を学ぶ活動の推進。 ○デジタル社会やSDGsを意識した教育活動を推進し、高い専門性や課題解決力を身に付けた、新たな社会の創造を担う人材の育成。		
平商業・ 四倉 統合校	商業		4	4	<b>職業教育推進校</b> 令和8年度統合予定 統合校の方向性は、40ページに記載		
	情報		1	1			
	平商業	商業	4	0		△4	令和8年度、統合により募集停止
四倉	普通	2	0	△2	令和8年度、統合により募集停止		
いわき総合 ・好間 統合校	総合		6	6	<b>キャリア指導推進校</b> 令和7年度統合予定 統合校の方向性は、41ページに記載		
	いわき総合	総合	5	0		△5	令和7年度、統合により募集停止
	好間	普通	2	0		△2	令和7年度、統合により募集停止

学校名	学科	R5 年度 予定	後期計画		各校の方向性
			R10 年度	期間内 増減	
いわき光洋	文理	5	5	0	<b>進学指導重点校</b> ○質の高い授業の実践と、進学指導を充実させた大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○単位制の長所を生かす習熟度別授業や少人数授業等の取組を通じた、対話的で深い学びの実践と個に応じたきめ細かな指導による、学習指導の充実。 ○高大連携の科目を含めた多様な選択科目の設置による、進路希望に応じた履修を可能とするカリキュラムの展開。
いわき湯本	普通	6	6	0	<b>キャリア指導推進校</b> ○生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育や地域と連携した教育活動等による、地域を支える核となる人材の育成。 ○進路希望に応じたコース制の導入やICT機器の活用、習熟度別授業及び少人数指導の充実など、きめ細かな教育活動の実現による生徒一人一人の学力の伸長。 ○いわき市や地域企業等と連携した地域探究学習などによる、地域と連携した教育活動の充実により地域課題に関心を持ち、その解決を図る態度の育成。
小名浜海星	普通	1	1	0	<b>職業教育推進校</b> ○普通・商業教育の実施校及び水産教育の拠点として、進路希望に応じた丁寧なキャリア教育による、地域産業を支える人材の育成。 ○学科の枠を超えた探究学習を充実させ、水産業の6次産業化や地域ビジネスに関する教育活動の推進による地域活性化の視点を持った人材の育成。 ○国内有数の国際物流拠点である小名浜港に隣接している地域特性に対応した英語教育の推進による実践的なコミュニケーション能力の育成。
	商業	1	1	0	
	水産	3	3	0	
磐城農業	農業	4	4	0	<b>職業教育推進校</b> ○農業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動による、生徒の知識・技能の向上と多様な進路希望の実現など、地域産業を支える核となる人材の育成。 ○GAP認証や「福島イノベーション人材育成実践事業」を通じた教育活動による、農業の新たなニーズに対応できる最先端の知識と技術の習得を目指す取組の推進。 ○農畜産物の生産、加工、商品開発及び販売に生徒が自ら携わる一貫した実践的な学びを通じた、地域に根ざし地域とともに成長する学校づくりの推進。
勿来 ※	普通	2	2	0	<b>キャリア指導推進校</b> ○生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育や地域と連携した教育活動等を通じた、生徒の学びの充実による、地域を支える核となる人材の育成。 ○基礎学力の定着とともに、福祉コースでの福祉の基礎・基本の学びと施設での実習による、地域との関わりと福祉社会で活躍できる人材の育成。 ○能力や適性に合わせたスキルトレーニングや放課後の学習支援などの指導の推進と、いわき支援学校くぼた校と連携した共生社会に向けた学びの充実。
勿来工業	工業	4	4	0	<b>職業教育推進校</b> ○地域企業等との連携による工業教育の充実に加え、専門的な知識・技能の習得と進路希望に応じたキャリア教育による、地域産業を支える人材の育成。 ○「福島イノベーション人材育成実践事業」を活用した、地元企業等との連携による実践的な経験を積ませるインターンシップ等の推進。また、高い専門性を身に付けるための工業教育の徹底による生徒の進路希望の実現及び工業を通じた地域との交流による、地域から愛され社会に貢献できる職業人の育成。
学級数計		58	55	△3	
計画値			52	△6	

## いわき地区の再編整備の方向性

### ① 平商業・四倉統合校

**開校年度**：令和8年度予定

**使用校舎**：平商業高等学校の校舎

**学科構成**：商業科4学級、情報科1学級（計5学級）

**統合校における教育活動の方向性**：

- 商業教育の拠点及び情報教育の実施校として、高い専門性を身につけるための教育活動により、生徒の知識と技能を高め、多様な進路希望の実現を図り、地域産業を支える人材を育成する職業教育推進校に位置づけます。

- 平商業と四倉の取組を継承し、地域と連携した教育活動等により、地域産業の発展を担う実践力と資質・能力の育成を図ります。
- 県内唯一の商業科、情報科併設校として、情報活用能力を育成する教育内容の充実を図り、修得した技術を活用しながら地域課題の解決に向けて主体的に取り組む力を育成します。

#### **検討する統合校の特色化**

商業科・情報科の学科間連携。自治体及び地域企業との連携による魅力ある探究活動の取組。様々な資格取得、検定合格への支援の充実。

### **② いわき総合・好間統合校**

**開校年度**：令和7年度予定

**使用校舎**：いわき総合高等学校の校舎

**学科構成**：総合学科6学級

#### **統合校における教育活動の方向性：**

- 総合学科の特色を生かし、生徒の学習ニーズや進路希望に合わせた多様な科目群（系列）の設置及び地域と連携したキャリア教育の充実により、地域を支える核となる人材を育成する学校として、キャリア指導推進校に位置づけます。
- いわき総合の取組を継承し、高大連携による授業の実施等により、生徒の学びを深める教育活動の充実を図ります。
- 好間の取組を継承し、丁寧な学習指導により基礎学力の着実な定着を図ります。

#### **検討する統合校の特色化：**

生徒の学習ニーズや進路希望に合わせた、丁寧な学習指導や進路指導。芸術・表現系列における高い水準の教育内容の実践。大学等と連携し、SDGsの視点を取り入れた学習の実践。様々な資格取得、検定合格への支援の充実。

※ 勿来高等学校については、今後も、特別支援学校を併設する特色を生かし、インクルーシブ教育システムの推進を図る観点から、1学年2学級であっても統合対象外とします。

## (6) 相双地区

### 中学校卒業見込者と学級数の見込み

年 月	令和5年3月		令和10年3月
中学校卒業見込者	900人	→	723人
年 度	令和5年度 (前期最終年度)		令和10年度 (後期最終年度)
公立募集学級	(25)学級	→	22学級
学級数の増減の目安			3学級減

### 各校の改革の方向性

\* 職業系専門学科の学科名は大学科を記載。表内の数字は学級数を示す。

学校名	学科	R5 年度 予定	後期計画		各校の方向性
			R10 年度	期間内 増減	
ふたば 未来学園	総合	4	4	0	<b>キャリア指導推進校</b> ○総合学科、中高一貫の特色を生かした、多様な系列や探究を軸とした学習の充実による、夢を実現し、地域や世界で未来を創造する力の育成。 ○併設型中高一貫教育の深い学びの中で高い学力をじっくり育みながら、哲学・演劇などを通じたシティズンシップ教育の充実、コミュニケーション能力の育成、グローバルな視点から地域の課題解決に取り組む力の育成を図る教育活動の推進。 ○各競技団体との連携による、世界に通用する真のアスリートの育成。
相馬	普通	3	3	0	<b>進学指導重点校</b> ○質の高い授業の実践と、進学指導を充実させた大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○「福島イノベーション・コースト構想関連事業」の取組を通して地域のエネルギー問題等を深く理解し、地域の復興と再生に寄与するリーダーの育成。 ○地域の医療、教育、福祉、行政等の各分野をテーマとした課題解決学習や探究的な学びの展開によって、多角的な視点で地域を理解する質の高い学びの推進。
	理数	1	1	0	
相馬総合	総合	5	5	0	<b>キャリア指導推進校</b> ○総合学科の特色を生かした多様な科目群（系列）の設置により、生徒の学習ニーズや進路希望に対応し、生徒一人一人に寄り添った学習指導を通じた基礎学力の確実な定着。 ○キャリア教育の充実による、地域を支える核となる人材の育成。 ○震災等の災害の伝承や防災に関する教育を踏まえながら、相馬市、新地町及び南相馬市のより良い地域づくりを目指す地域探究活動を通じた教育活動の充実。
原町	普通	4	4	0	<b>進学指導重点校</b> ○質の高い授業の実践と、大学等への進路指導体制の強化による、各分野のリーダーとして活躍し社会の発展に貢献する人材の育成。 ○「福島イノベーション人材育成実践事業」を活用し、先端施設・企業・大学等訪問を通じた将来貢献したい分野を見出す取組、地域理解と課題解決に取り組む探究学習、英語を用いたプレゼンテーションの実践等による、時代に対応した幅広い能力の育成。 ○普通科コース制における保健・医療、教育の分野を希望する生徒に対する教育プログラムの実践による、将来本県で活躍できる人材の育成。
相馬農業	農業	3	2	△1	<b>職業教育推進校</b> ○農業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動による、生徒の知識・技能の向上と多様な進路希望の実現など、地域産業を支える核となる人材の育成。 ○「福島イノベーション人材育成実践事業」による地域の生産者と連携した実習体験や、ICTを活用したスマート農業等先端技術学習による、革新的な次世代の農業人の育成。 ○地域との連携のもと、郷土芸能部による地域の伝統芸能を継承する活動や、地域の小中学生と協働した、食産業の魅力を発信する活動の推進。

学校名	学科	R5 年度 予定	後期計画		各校の方向性
			R10 年度	期間内 増減	
小高産業技術	工業	3	3	0	<b>職業教育推進校</b> ○工業・商業教育の拠点として、高い専門性を身に付けるための教育活動による、生徒の知識・技能の向上と多様な進路希望の実現など、地域産業を支える核となる人材の育成。 ○「福島イノベーション・コースト構想」を担う専門人材育成に向けた、大学や企業との連携によるロボット工学、再生可能エネルギー、ビジネスに関する教育や工業科・商業科を横断した教育活動の推進。 ○地域の復興や活性化に向けて取り組む学校として、地域社会との連携の強化。
	商業	2	1	△1	
双葉	普通	0	—		平成29年度より休校 住民の帰還状況や小中学校の再開状況等を注視する。
浪江	普通	0	—		
浪江津島	普通	0	—		
富岡	国際・スポーツ	0	—		
双葉翔陽	総合	0	—		
相馬農業飯舘	普通	0	—		
学級数計		25	23	△2	令和2年度より休校 住民の帰還状況や小中学校の再開状況等を注視する。
計画値		22	△3		

※ 休校となっている双葉高等学校、浪江高等学校、浪江高等学校津島校、富岡高等学校、双葉翔陽高等学校、相馬農業高等学校飯舘校については、今後の地域の復興の進展、住民の帰還状況、小中学校の再開状況等を考慮しながら、今後の在り方を検討します。

### 3 定時制・通信制課程の改革の方向性

定時制・通信制高等学校については、多様な入学動機や学習歴を持つ入学者等が増えているため、地区ごとの配置の状況、志願動向はもとより、多様な生徒のニーズに応えられる学習環境の整備などの観点から、各校の計画期間中の方向性を以下のとおりとします。

#### (1) 定時制高等学校

##### 各校の改革の方向性

\* 職業系専門学科の学科名は大学科を記載。表内の数字は学級数を示す。

地区	学校名	学科	R5 年度 予定	後期計画		各校の方向性
				R10 年度	期間内 増減	
県北	福島工業 (定時制)	工業 (夜)	1	1	0	<b>県内唯一の工業科の夜間部定時制</b> ○定時制課程工業科の特色を生かし、学ぶ意欲を高めるきめ細かな指導や体験学習を重視した、自立的に生き、社会の形成に参画できる人材の育成。 ○生徒に寄り添った生活指導や教育相談をはじめ、個に応じた丁寧な授業の実践による、生徒の学習意欲の喚起及び基礎学力の定着。 ○定通併修の制度等を活用した、3年間で卒業できる教育課程編成の継続。 ○技術・技能の習得、資格取得、ものづくりを通じた、進路指導の充実。
	ふくしま新世	普通 (夕・夜)	1	1	0	<b>県北地区唯一の普通科の夕夜間部定時制</b> ○定時制課程の特色を生かした、生徒の多様な学習ニーズに応える教育活動とキャリア教育の展開による、生徒の進路実現及び社会に貢献する人材の育成。 ○単位制の導入、学び直しの機会の充実やICT教育の実践等による生徒一人一人に寄り添ったきめ細かな指導体制の充実。 ○学校行事や学級活動の活性化、生活体験発表会の実践等により、主体的に協働し、自らの力で未来を切り拓いていく人材の育成。
県中	郡山萌世 (定時制)	普通 (昼)	3	3	0	<b>福島県全域を学区とする多部制(昼夜間)の普通科定時制</b> ○定時制課程の特色を生かした、生徒の多様な学習ニーズに応える教育活動とキャリア教育の展開による、生徒の進路実現及び社会に貢献する人材の育成。 ○昼間主と夜間主の2つのコースを用意し、学ぶ時間、学ぶ期間等、それぞれのコースに特色を持たせることによる、生徒の多様な学びに対応した教育の推進。 ○進路希望等に応じた科目の設定による、自ら学ぶ意欲を高める取組の推進。 ○社会人に対する科目履修制度による、県民の生涯学習の充実への寄与。
		普通 (夜)	1	1	0	
県南	白河第二	普通 (夜)	1	1	0	<b>県南地区唯一の普通科の夜間部定時制</b> ○定時制課程の特色を生かした、生徒の多様な学習ニーズに応える教育活動とキャリア教育の展開による、生徒の進路実現及び社会に貢献する人材の育成。 ○「生活体験発表」や定通大会等における学習活動へに向けた手厚い指導や丁寧で継続的な教育相談による、生徒の自尊感情や自己肯定感を高める取組の推進。 ○学び直しの取組による生徒の学習意欲の喚起や、学校行事等の活性化による仲間の大切さや集団行動の楽しさを実感できる教育活動の実践。
会津	会津第二	普通 (夜)	1	1	0	<b>会津地区唯一の普通科の夜間部定時制</b> ○定時制課程の特色を生かした、生徒の多様な学習ニーズに応える教育活動とキャリア教育の展開による、生徒の進路実現及び社会に貢献する人材の育成。 ○アクティブ・ラーニングによる生徒の学習意欲の喚起に加え、習熟度を考慮したチーム・ティーチングを活用したわかる授業と繰り返し学習による基礎基本の定着。 ○学習、進路、健康、就業等、生徒の学校生活における悩みに真摯に向き合う個別相談の充実による、生徒の抱える課題を解決に導く取組の推進。
いわき	いわき翠の杜	普通 (昼)	2	2	0	<b>いわき地区唯一の多部制(昼夜間)の普通科定時制</b> ○定時制課程の特色を生かした、生徒の多様な学習ニーズに応える教育活動とキャリア教育の展開による、生徒の進路実現及び社会に貢献する人材の育成。 ○昼間・夜間の共通科目履修による、3年間で卒業できる教育課程の編成。 ○基礎学力の向上を目指した、ICT機器等の活用による「わかる授業」の展開。 ○規範意識と社会性の育成、進路意識の高揚を図る取組の推進及び地域との交流やボランティア活動への参加等を通じた、社会に貢献しようとする心の育成。
		普通 (夜)	1	1	0	
学級数計			11	11	0	



## (2) 通信制高等学校

### 改革の方向性（募集定員）

学校名	学科	R 5 年度 予定	後期計画		各校の方向性
			R10 年度	期間内 増減	
郡山萌世 (通信制)	普通	400	400	0	<p>福島県全域を学区とする県内唯一の公立通信制高等学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○通信制課程の特色を生かした、生徒の多様な学習ニーズに応える教育活動とキャリア教育の展開による、生徒の進路実現及び社会に貢献する人材の育成。</li> <li>○勤労者に加え、幅広い年齢層や不登校・中途退学経験者など多様な背景を持った生徒への学びの場、学び直しの機会の提供。</li> <li>○分かりやすい面接指導や個に応じた学習指導の充実による、生徒自ら学ぶ意欲を高める取組の推進。</li> </ul>
募集定員計（人）		400	400	0	

## IV章 県立高等学校改革後期実施計画の推進に当たって

### 1 社会の変化に対応した高等学校づくりの推進

県立高等学校は、時代のニーズや地域からの要請に応じて設立され、その後、統合や学科改編などの変遷を経て、現在に至っています。社会の急激な変化や生徒数の減少により高等学校の小規模化はさらに進み、今後は、これまで高等学校が地域で担ってきた役割を尊重しながらも、その在り方について見直しが必要となってきました。県教育委員会は、後期実施計画においても、地域の状況の把握に努めるとともに、所在市町村、地域住民、保護者に対して、改革の方向性について丁寧な説明を行い、生徒の資質や能力を伸ばさせる魅力ある高等学校とするため、関係者とともに考え、新しい学校づくりに有益な意見を取り入れながら、より良い高等学校づくりを進めていきます。

#### (1) 県立高等学校改革の具現化に向けて

統合等に当たっては、県立高等学校改革懇談会を実施し、統合等の趣旨や学校の方向性について丁寧に説明するとともに、さらに魅力ある高等学校となるよう意見を聴取します。

その後、県教育委員会及び統合対象校の教職員等による教育内容検討委員会において、教育内容等の具体的な検討を進めていきます。

更に、統合校の教育活動の検討状況については、関係者に対し説明を行うなど、情報発信に努め、意見を聴取しながら検討を進めていきます。

再編整備のない学校においても、校長のリーダーシップのもと、高等学校改革を推進する校内組織等を中心として、後期実施計画期間中の改革の方向性と想定される学級数を踏まえながら、魅力ある高等学校づくりを、教職員はもとより、地域とともに推進していきます。

#### (2) 本県の高等学校教育の充実に向けて

Ⅱ章1で提示した高等学校教育の質的向上と、Ⅱ章2で提示した再編整備を含めた教育環境づくりは、県立高等学校改革の両輪として、表裏一体で推進していく必要があります。県教育委員会は、前期実施計画及び後期実施計画を踏まえながら、県立高等学校の教育内容の充実のための施策をさらに推進します。

また、本県には17の私立高等学校があり、それぞれ建学の精神に基づいて特色ある教育活動を行っています。本県の高等学校教育の充実に向けて、これら私立高等学校も含め、公私が連携して体制の構築を図っていく必要があります。このため、今後、生徒数が減少する中での本県全体の募集定員や公私協調の下での学校の在り方などについて、公私立協議会等の場を活用し、私立高等学校と協議しながら検討します。

### 2 次期県立高等学校改革計画策定に向けた継続的な検証

次期県立高等学校改革計画の策定に向け、以下のとおり地域の状況等を見据えながら、前期実施計画及び後期実施計画の進捗状況や成果、課題について適宜検証を行うとともに、地域の関係者から意見を丁寧に聴取していきます。

- 後期実施計画期間及び期間後の中学校卒業見込者数の推移や各地区の少子化の状況等を注視していきます。
- これまで再編整備を行った学校も含め、すべての高等学校について、志願動向や特色化と魅力化の進捗及び地域との連携などの各校の取組状況を注視していきます。
- 本県を取り巻く様々な社会環境の変化や、東日本大震災・原子力災害からの復興・創生の状況を注視していきます。

( 参 考 资 料 )

# 県立高等学校改革後期実施計画のグランドデザイン

一基本計画に基づく高校改革の全体像一

## 本県の未来を切り拓くチャレンジ精神を持った人づくり・生徒の資質や能力を伸長させる魅力ある高等学校づくり

- 様々な課題に果敢に取り組む主体性・協働性を育成する教育活動の推進
- 多様な学習内容の提供及び教育の質の向上

## 社会の変化に的確に対応できる生き抜く力の育成

〔 ※ 後期実施計画最終年度(令和10年度)の各校の位置づけなどを示す。  
 ※ 四角囲み内の学校は、総合予定の高校である。〕

**進学指導拠点校 (4校)**

福島・安積・会津・磐城

**ミッション** 県内の学習指導、進学指導を牽引するリーダー校として、進学指導重点校との連携による教育力向上の推進。難関大学及び医学部志望者の進路実現。

**育みたい生徒像** 国内外で各分野のトップリーダーとして活躍する、未来を牽引できる人材。

**安積中学校・高等学校(仮称)併設型中高一貫教育校**

進学面で高い志を持った生徒の進路実現に対応する6年間を見通した系統的な教育活動の推進。

**進学指導重点校 (16校)**

県北 福島南 梁川・保原 統合校 安達 本宮	県中 あさか開成 須賀川創英館 田村 船引・小野 統合校	県南 光南	会津 会津西陵 田島・南会津 統合校	いわき いわき総合・好岡 統合校 いわき湯本 勿来	相双 相馬 原町
---------------------------------------	---	----------	-----------------------------	---------------------------------------	----------------

**ミッション** 授業の質の向上及び進学指導の充実と、進学指導拠点校との連携による生徒の進路希望実現。

**育みたい生徒像** 各分野のリーダーとして活躍する、社会の発展に貢献できる人材。

**キャリア指導推進校 (16校)**

県北 福島南 梁川・保原 統合校 安達 本宮	県中 あさか開成 須賀川創英館 田村 船引・小野 統合校	県南 光南	会津 会津西陵 田島・南会津 統合校	いわき いわき総合・好岡 統合校 いわき湯本 勿来	相双 ふたば未来学園 相馬総合
---------------------------------------	---	----------	-----------------------------	---------------------------------------	-----------------------

**ミッション** 生徒の幅広い学習ニーズに対応した教育活動の充実による、就職から大学進学までの進路希望実現。

**育みたい生徒像** 地域を支える核となって活躍する、社会に貢献できる人材。

**ふたば未来学園**

「地域による高等学校教育改革推進事業」(グローバル型)指定校としての取組や創設的職業教育の推進

普及・発展

アクティブ・ラーニング及び探究的な学びの先進校として、成果を他校と共有し、具体的な手法や評価法などについて普及・発展させる。

**職業教育推進校 (21校)**

県北 福島商業 福島明成 福島工業 二本柳工業・実践 統合校	県中 郡山商業 郡山北工業 清陵情報 岩瀬農業	県南 白河工業・県工業 統合校 修明	会津 若松商業 会津工業 喜多方桐桜 耶麻工業・実践 統合校	いわき 平工業 平商業・四倉 統合校 小名浜海星 磐城農業 勿来工業	相双 相馬農業 小高栽培
---	-------------------------------------	-----------------------------	---	--	--------------------

**ミッション** 大学や地域企業等との連携による実践的な職業教育の充実と、企業への就職や職業系学部などへの大学進学を実現する地域の産業振興や福島の復興を支える人づくりの推進。

**育みたい生徒像** 各分野のリーダーや地域産業を支える核として活躍する、社会の発展に貢献できる人材。

**小高産業技術**

S.P.H指定校としての実績や「マイスター・ハイスクール事業」による最先端の産業人材育成システムの構築

先進的な教育実践や他機関との連携などにより得られた知見及び成果を他の職業高校と共有し、普及・発展させる。

**地域協働推進校 (7校)**

川俣・湖南・石川・猪苗代・西会津・川口・只見

**ミッション** 地域との協働による教育活動の充実と、地域社会を支える人づくりの推進。

**育みたい生徒像** 地域創生の核となって活躍する、社会に貢献できる人材。

**定時制・通信制高校 (7校)**

福島工業(定)・ふくしま新世・郡山萌世(定)・白河第二・会津第二・いわき翠の杜	定時制 郡山萌世(通)	通信制 郡山萌世(通)
---	----------------	----------------

**ミッション** 生徒一人一人の多様な学習ニーズに対応した教育活動とキャリア教育による生徒の進路希望実現。

**育みたい生徒像** 意欲を持って学習や学校生活に取り組む、主体性や社会性を身に付けた、社会に貢献できる人材。

**相双地区休校等 (6校)**

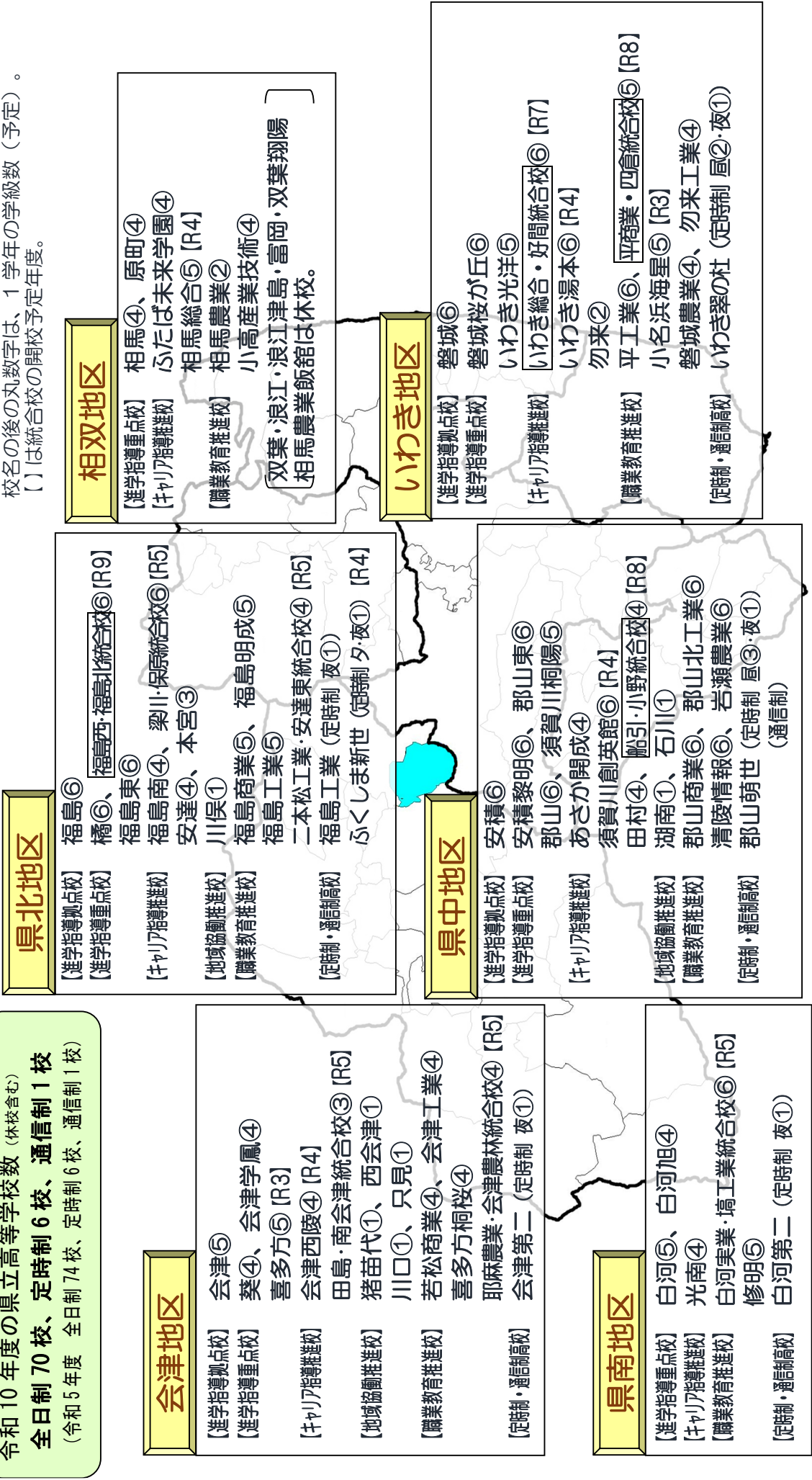
双葉・浪江・浪江津島校  
高岡・双葉翔陽  
相馬農業飯館校

今後の地域の復興の進展、住民の帰還状況、小中学校の再開状況を考慮しながら、今後の在り方を検討。

# 県立高等学校改革後期実施計画最終年度（令和 10 年度）における各地区の高等学校の配置

令和 10 年度の県立高等学校数（休校含む）  
**全日制 70 校、定時制 6 校、通信制 1 校**  
（令和 5 年度 全日制 74 校、定時制 6 校、通信制 1 校）

※ 学校の位置づけごとに学校番号順に掲載。  
校名の後の丸数字は、1 学年の学級数（予定）。  
〔 〕は統合校の開校予定年度。



## 福島県教育庁 高校教育課 県立高校改革室

〒960-8688 福島県福島市杉妻町2-16

電 話 024-521-7771

F A X 024-521-7973

ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/edu/kaikakushitsu02.html>  
(県立高校改革のページ)

メールアドレス [k.koukoukaikaku@pref.fukushima.lg.jp](mailto:k.koukoukaikaku@pref.fukushima.lg.jp)